

第4章 学校教育



第1節 学校教育

1 令和7年度 うるま市のめざす学校教育

令和7年度

【学校教育の基本目標】

郷土に誇りを持ち、未来を拓く人づくり

【めざすこども像】「生きる力」を身に付け 高い志をもった「うるまっ子」



確かな学力「見通す力、振り返る力」

自らの考えをもって学び合い、教え合いながら進んで学習する子を育てよう！

豊かな心「かかわる力」

いのちや人権を尊重する子、思いやりのある子を育てよう！

健やかな体「やりぬく力」

困難なことがあっても粘り強く取り組み、挑戦する子を育てよう！

学校教育の改善・充実の好循環を生み出す「カリキュラム・マネジメント」の推進

■主体的・対話的で深い学びの実現

- 「授業における基本事項」の徹底で授業の土台づくり
- 問いをもたせる単元・授業デザインと日常的な質的改善

■道徳教育の充実

- 組織的な取組・充実による年間指導計画作成と授業づくり
- 豊かな体験活動と凡事徹底の推進

■健康の基盤づくり

- 学校体育の充実と小中連携した一校一運動の取組
- 適正な運動部活動（休日地域展開の取組）
- 思春期教室・性教育の実施と健康教育の充実

■保幼小中連携教育の充実

- 学校段階間の円滑な接続・連携した教育課程の編成
- 教育活動の交流や乗り入れ授業・合同研修会の実施
- 学びや生活の基本を保障する架け橋プログラムの実施

■児童生徒理解に基づく生徒指導

- 常態的・先行的生徒指導の創意工夫（未然防止の徹底）SEL や SST 等、社会性育成のためのプログラム実施
- 生徒指導と教育相談が一体となったチーム支援

■特別活動の充実

- 学級活動での話し合い活動の工夫充実
- 学級活動と連動した、こども主体の児童会・生徒会活動

■特別支援教育と切れ目のない支援の充実

- 巡回支援員派遣、関係機関連携(教育・福祉・家庭)
- 保幼小中をつなぐ個別の教育支援計画・指導計画の活用

■個別支援の充実と学習保障・学力保障

- 通所支援と市適応指導教室等での居場所づくり
- 校内自立支援室の設置（支援員活用）
- オンラインによる学習支援

学校教育を支える

◆「地域と共にある学校（地域学校協働活動と一体的に推進する市民協働学校）」

～学校と家庭・地域が目標とビジョンを共有し、こどもの成長を支える～

- 地域を生かす、地域で学ぶ ○地域に還す、地域に貢献する ○市民協働学校推進で学校参画

◆「GIGA スクール構想による新しい学びのスタイルの実現」

～ICT を授業改善に活用し、多様なこどもたちを誰一人取り残さず、学び続けるこどもを育成する～

- 個別最適な学びと協働的な学び ○テストや自学自習への活用 ○距離を超えて「つながる」

◆「教職員が協働して学びの質を高める授業改善・学校改善」

～こどもの実態を把握し課題を明確にした学校教育の推進～

- アセスメントを活用した学級づくり ○全職員で取り組む授業づくり ○経験の振り返りと対話で高め合う教職員集団

重点項目

人を大切にする「聴くこと」

人間関係の構築のために互いの話を最後まで「聴く」、相手の思いを「聴く」という対話の基本を身に付ける

勇気づけのボイスシャワー

自己有用感を味わわせ、自己肯定感を高めるためにこどもたちの良さや頑張り価値づける

評価の改善・充実 ～自立した学習者の育成のために～

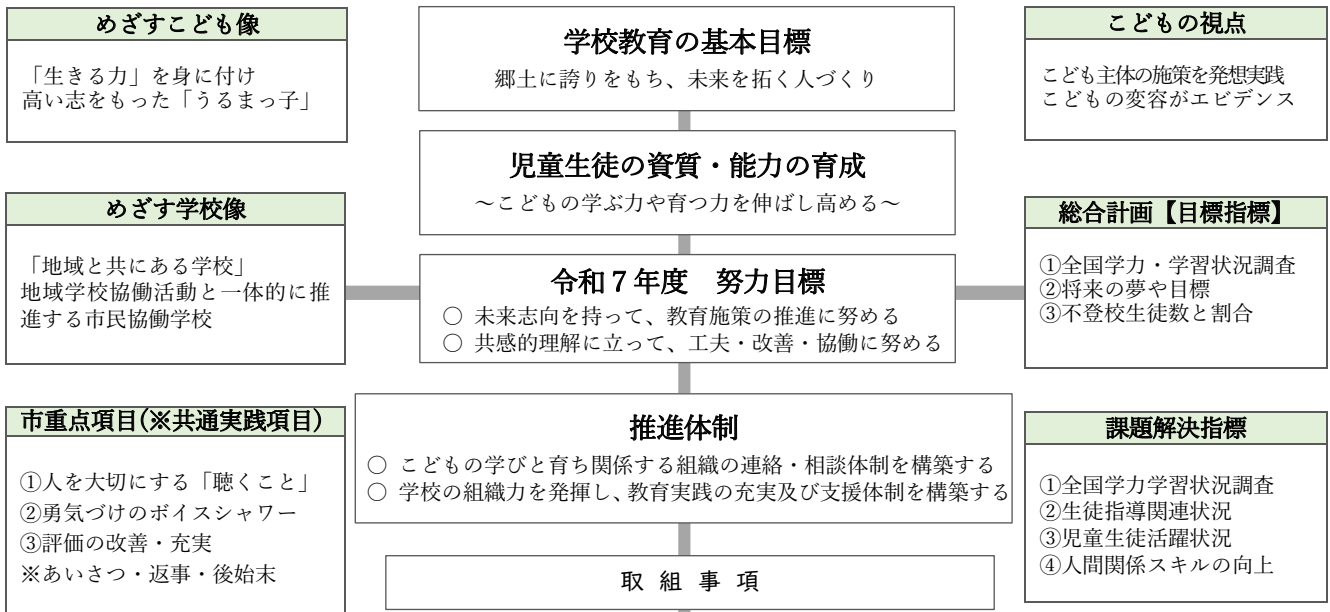
- ・目的を持った机間指導で学習状況を見取る
- ・形成的評価を実施し授業改善に生かす(テスト改善)
- ・つまづきに対応するための実態に合った ICT 活用による教材提供と組織的・計画的な補習指導

共通実践項目「あいさつ・返事・後始末」

～幼児期から、学校・家庭・地域が一体となって取り組む～

2 令和7年度 うるま市指導行政の基本方針

学校の使命はこども一人一人の生命を守り、よさや可能性を見つけ、生かし、伸ばすとともに、確かな学力等の「生きる力」を育むことである。これまでの指導行政を踏まえ、学校課題や学習指導要領の改訂を受け、各学校がこどもたちに育む「資質・能力」の育成を目指し、学校教育の目標の実現が図れるよう、国、県の動向や主要施策及び各学校の実態を踏まえ、うるま市指導行政の基本方針を以下のように作成して推進する。



教職員が協働して学びの質を高める授業改善・学校改善

1 教職員の資質・能力向上をめざす組織づくりの推進

- こどもの姿に基づく授業改善
- 架け橋プログラムの実施
- 対話型研修、対話型組織開発の推進
- 働き方改革は「学びの改革」
- OPLANT 活用による主体的な資質向上・能力開発

県「共通実践事項」

- ◎ 児童生徒の変容につながる PDCA サイクルの確立
- ◎ 「目指す児童生徒像」実現化を目指した校内研修の充実

～こどもの実態を把握し課題を明確にした学校教育の推進～

GIGA スクール構想による新しい学びのスタイルの実現

2 こどもたちの学力保障と成長保障～しっかり・じっくり・たっぷり～

主体的・対話的で深い学びの具体化

- 公正な「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- 学習基盤としての ICT の活用
- うるま探究学習「うるたん」の実施
- 「指導と評価」の一体化の実現
- 「自学自習力」を育む取組の充実
- 県「授業改善4つの取組」

育成すべき「資質・能力」の明確化

- 「知識・技能」の習得
- 「思考力・判断力・思考力」の育成
- 「学びに向かう人間性等」の涵養

魅力ある学校づくりの推進 (学び・育ちの実感)

確かな児童生徒理解に基づく支援

- 確かな児童生徒理解
- L-Gate「心の健康」導入
- 育成を支える4つのポイント
自己存在感の感受、共感的な人間関係
自己決定の場の提供、安全安心な風土の醸成
- 校内自立支援室の効果的活用
- 校内教育支援委員会の充実

～ICTを授業改善に活用し、多様なこどもたちを誰一人取り残さず、学び続けるこどもを育成する～

地域と共にある学校（地域学校協働活動と一体的に推進する市民協働学校）

3 カリキュラム・マネジメントを生かした自律的学校経営の推進

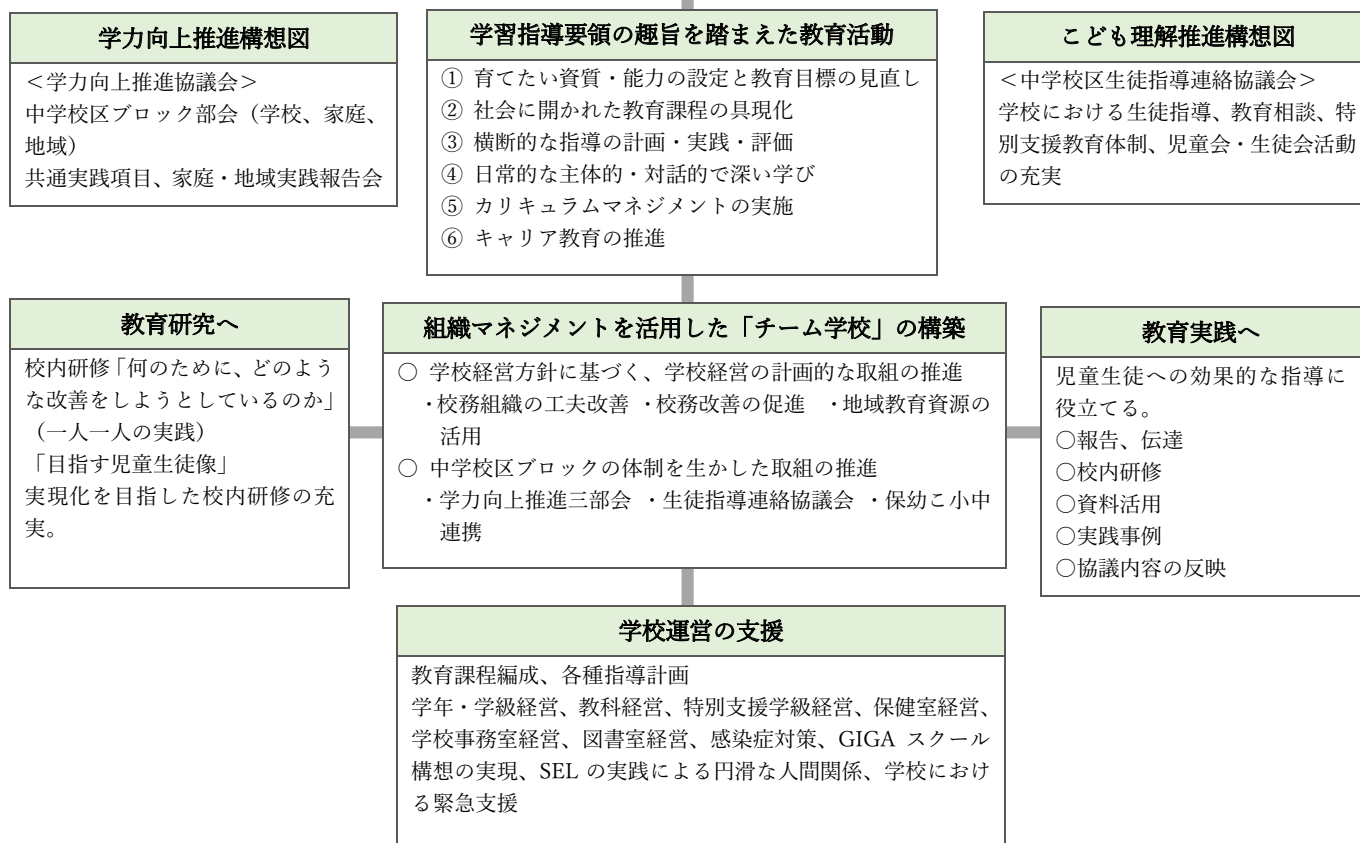
- 学校教育目標・ビジョン、課題及び情報の共有
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
- 学校運営委員研修会の実施
- 学校課題共有と熟議活性化
- 防災教育と地域防災力向上の取組
- 「学び育ちをつなぐ」小中連携・小小連携・保幼小連携
- 学校部活動の地域展開

～学校と家庭・地域が目標とビジョンを共有し、こどもの成長を支える～

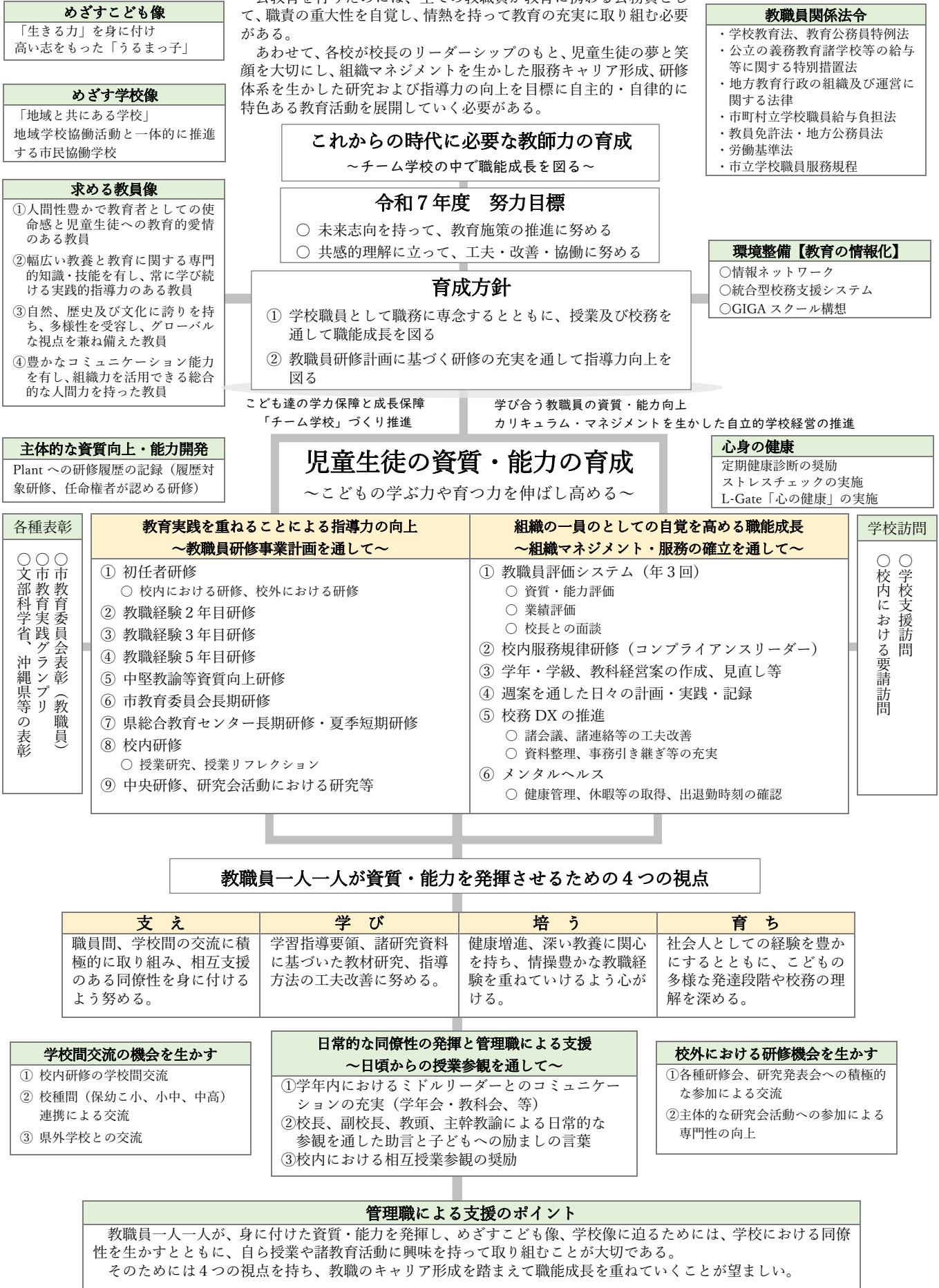
指導行政推進の5つの視点

事業	理解	報告	研修	支援
意図的・計画的に取り組むことで実践を確かなものにする	参加を通して情報の共有と共に考えることにより理解を深める	報告をまとめることで、分析・考察を通して自校の実践を振り返る	研修の機会を活かして指導技術を高め、明日の授業改善に結びつける	様々な支援策を通して一人一人のこどもを大切にする
①学校支援訪問 ②学習内容の定着を図る取組 ③うるま市教育の日 ④指導主事要請訪問 ⑤中学生フォーラム ⑥児童会リーダー研修会 ⑦英語スキットコンペ ⑧イングリッシュキャンプ ⑨魅力ある学校づくり事業 ⑩定例校長会 ⑪定例教頭会 ⑫市民協働学校推進協議会 ⑬市教育支援委員会 ⑭架け橋プログラム事業（スタートカリキュラム）	①学力向上推進担当者会 ②生徒指導主任研修会 ③児童会・生徒会担当者研修会 ④キャリア教育担当者研修会 ⑤服務規律研修会（校内研） ⑥特別支援研修会（校内研） ⑦特別支援教育コーディネーター連絡協議会 ⑧中学校区生徒指導連絡協議会 ⑨情報教育担当者会 ⑩教育相談担当者会 ⑪保幼小連絡協議会 ⑫特別支援教育支援員・医療的ケア看護職員研修会 ⑬教育支援担当者会	①全国学力・学習状況調査 ②全国体力・運動能力、運動習慣等調査 ③県到達度調査 ④県学力定着状況調査 ⑤毎月の問題行動調査 ⑥毎月の児童生徒支援計画（スクリーニングシート） ⑦学校評価の実施 ⑧市長期研修成果報告会 ⑨学力向上推進の取組評価 ⑩児童生徒の活躍状況調査 ⑪教育実践グランプリ	①ブロック型研修会 ②各種研修 ・教職員研修（対話型研修） ・県内・県外視察研修 ③県立総合教育センター長期研修 ④市教育委員会長期研修 ⑤へき地教育研究大会 ⑥市民協働学校先進校視察 ⑦市民協働学校フォーラム ⑧国、県指定研究校 ⑨統合型校務支援システム活用研修 ⑩GIGA スクール研修 ⑪特別支援学級担任等合同研修会 ⑫教科授業研修会	①ALT 配置（小学校） ②学力向上支援員配置 ③特別支援教育支援員配置 ④医療的ケア看護職員配置 ⑤ICT 支援員配置 ⑥SSW r 配置 ⑦スクールカウンセラー配置 ⑧青少年支援員配置（中学校） ⑨臨床心理士配置 ⑩スクールロイヤー配置 ⑪適応指導教室設置 ⑫教育相談室設置 ⑬校内自立支援室支援員配置 ⑭教育支援委員会 ⑮スクールバス運行 ⑯スクリレ活用 ⑰放課後子ども教室 ⑱地域学校協働本部 ⑲自立支援員配置 ⑳日本語教育支援員 ㉑架け橋期コーディネーター配置 ㉒特別支援教育アドバイザー配置 ㉓学校教育アドバイザー配置

学校教育



3 令和7年度 うるま市管理行政の基本方針



教職員一人一人が資質・能力を発揮させるための4つの視点

学校間交流の機会を生かす

- ① 校内研修の学校間交流
- ② 校種間（保幼小、小中、中高）連携による交流
- ③ 県外学校との交流

日常的な同僚性の発揮と管理職による支援
～日頃からの授業参観を通して～

- ① 学年内におけるミドルリーダーとのコミュニケーションの充実（学年会・教科会、等）
- ② 校長、副校長、教頭、主幹教諭による日常的な参観を通した助言と子どもへの励ましの言葉
- ③ 校内における相互授業参観の奨励

校外における研修機会を生かす

- ① 各種研修会、研究発表会への積極的な参加による交流
- ② 主体的な研究会活動への参加による専門性の向上

管理職による支援のポイント

教職員一人一人が、身に付けた資質・能力を発揮し、めざすこども像、学校像に迫るためには、学校における同僚性を生かすとともに、自ら授業や諸教育活動に興味を持って取り組むことが大切である。
そのためには4つの視点を持ち、教職のキャリア形成を踏まえて職能成長を重ねていくことが望ましい。

4 確かな学力の育成

目指すべき方向

学習指導要領改訂の趣旨を捉え、カリキュラムマネジメント及び「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学習過程の改善を図り、「確かな学力の育成」に努めます。

目標

- ① こどもたちが夢を持ち、その実現に向けて主体的に取り組むことができるようにする。
- ② 「自立した学習者」育成プロジェクトを推進し、授業における基本事項・うるま市重点項目「人を大切にする『聴くこと』」「勇気づけのボイスシャワー」「評価の改善・充実」を柱とした「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善に取り組む。
- ③ 学びの質を高める組織的な学校改善・授業改善の推進やカリキュラムマネジメントの視点に基づく学校組織体制の構築に取り組む。
- ④ 学校・家庭・地域で共通実践項目「あいさつ・返事・後始末」を推進し、連携協力体制を築きこどもたちの健やかな成長を見守っていく。

現状と課題

- 全国学力・学習状況調査・県学力定着調査・学力到達度調査において、質問紙調査では自己肯定感や心理的安全性の高まりがみられる一方、教科調査では平均正答率で全国平均や県平均との差がみられる。
- 学びの質を変える授業改善を進める必要がある。
- 自己調整力・人とかかわる力の育成が十分とは言えない。

めざすこども像，教師像

子供像	○主体的に学習に取り組むことができる児童生徒 ○他者と関わり合いを大切にし、ペアやグループで協力して学び合うことができる児童生徒
教師像	○主体的に授業改善に取り組むことができる教師 ○こどもや同僚と関わり、同僚性を高めながら互いに学び合うことができる教師

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

- 授業における基本事項の改善・充実（学習過程を意識した授業展開の工夫）
- 生徒指導の4つのポイント※1を生かした授業改善・学級経営の充実

「学習基盤としてのICT」の活用

- ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的推進
- 発達段階及び実態に応じたデジタルドリルの導入および活用

「指導と評価の一体化」の実現

- 年間サイクル計画に基づく学力向上推進と生徒指導の一体的展開
- 調査に基づく児童生徒の実態分析・共有
- 小中連携の充実

「自学自習力」を育む取組の充実

- 授業と家庭学習を結ぶ往還的な学習サイクルの確立・学びに生かすテスト改善
- 家庭や地域と連携した基本的な生活習慣の確立

育成を支えるポイント（人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー）

- 支持的風土づくりの4つのポイント※2に基づく学校経営・学級経営
- 社会性と情動の学習SEL※3の視点に立った関係づくりの推進

※1：①安全・安心な風土の醸成，②自己存在感の感受，③共感的な人間関係の育成，④自己決定の場の提供

※2：「安心」「所属」「承認」「自立」を通して学校改善を図る。

※3：社会性と情動の学習SEL（自己の捉え方と他者との関わり方を基礎とした社会性に関するスキル、態度、価値観を育む学習プログラム）を通して、学校・教師・こどもの社会性や学級の人間関係形成に役立てる。

5 道徳教育の充実

目指すべき方向

児童生徒の道徳性の育成を通して、心身の調和のとれた発達と豊かな心の育成、個性の伸長を図るため、道徳教育の充実に努めます。

目標

- ① 道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。
- ② 道徳的諸価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
- ③ 各教科、外国語活動、総合的な活動の時間、特別活動等の特質に応じて、児童生徒の発達段階や特性等を考慮し、適切な指導を行う。
- ④ 学校・家庭・地域との共通理解を深め、相互の連携を図る。

現状と課題

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた道徳授業の展開と更なる授業改善
- 教科書を活用した道徳授業の取組と指導書に頼りすぎた授業づくり
- 支持的な風土のある学校・学級経営の取組と「人と関わろうとする力」がまだ不十分な状況
- 生命尊重や規範的な行動を促す道徳教育の実施と取組の充実

めざす子ども像、教師像

子ども像	<ul style="list-style-type: none"> ○いのちや人権を尊重する思いやりのある児童生徒（特に、いじめに対しては決して許されないこととして強く認識し、いじめの防止等に主体的に関わることができる児童生徒） ○自己を振り返り、これからの目標を見いだすことができる児童生徒
教師像	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒の道徳性が養われるよう、日々の学校教育活動において適切に指導ができる教師 ○道徳教育の要となる道徳科において、日々の学校教育活動等とつなげて展開し、児童生徒が自己を見つめ、生き方についての考えを深められるよう授業改善に努める教師

主な施策	<ul style="list-style-type: none"> ○社会性と情動の学習 SEL の考え方に基づく対話的な風土づくり ○道徳教育推進教師研修会 	人を大切に「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善
GIGA スクール構想による新しい学びのスタイルの実現	<p>主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多様な指導を取り入れた道徳の授業改善（問題解決的・対話的・体験的学習等） ○道徳科を核とした組織的な授業改善「考え、議論する道徳」 ○道徳科の授業で学んだことを意識した凡事徹底の推進 	
教職員が協働して学びの質を高める授業改善・学校改善	<p>児童生徒の実態把握と共有化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学年会・教科会の充実と評価の視点・観点の共有化 ○豊かな体験の充実と人間関係づくり、いじめの防止を図る。 <p>支持的風土をつくる学校経営・学級経営の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会性と情動の学習 SEL、UD及びUDLの視点に立った授業改善 ○道徳科を中心とした学級経営の充実 ○アセスメント調査の実施と結果分析に基づく効果的な活用 	
地域と共にある学校	<p>カリキュラムマネジメントの視点に基づく学校組織体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各教科との関連に基づく道徳教育の指導体制の充実 ○組織的な取組・充実による道徳教育全体計画、年間指導計画（別業）の作成と授業づくり ○各学校の実状に応じた重点目標の明確化と、発達段階に応じた指導内容の重点 <p>家庭・地域との緊密な相互連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家庭・地域社会と連携した道徳教育（地域題材・地域人材の活用） ○家庭や地域と連携した道徳教育の充実とキャリア教育の視点を踏まえた校種間連携 	

6 健やかな心と体を育む教育の充実

目指すべき方向

健康で心豊かな人を育むため、学校体育やスポーツに親しみ、健康や体力の保持増進の基礎づくりを進めます。また、運動部活動の活性化や適正化を促進し、発達段階に応じた基礎的な体力の向上に努めます。学校給食を通して児童生徒への食に関する指導を充実するとともに、食の安全・安心・信頼性の確保に努めます。

目標

- ① 心と体を一体としてとらえた健康の保持増進と体力の向上を図り、保健安全及び食に関する指導を学校の教育活動全体を通して行う。
- ② 生涯スポーツの基礎となる体力の向上を目ざした取組を充実させる。

現状と課題

- 各学校における健康教育に対しての創意工夫した実践
- 新体力テスト・泳力調査結果の考察及び改善に向けた取組の実施
- 中学校は肥満改善傾向、小学校は男女とも肥満度が高い。体力・運動能力は徐々に向上傾向
- 部活動加入率（55.3%）＊学校運動部（44%）＊学校文化部（5.0%）＊学校外活動（6.3%）

めざす子供像

- 心身の健康について考えて行動できる児童生徒
- 生涯にわたって運動に慣れ親しむことのできる児童生徒

主 な 施 策	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校体育専科教員配置の活用・推進（赤道小） ※休日部活動の段階的な地域展開に向けた取組 ○スポーツ力向上促進事業 ○部活動指導員配置事業
GIGA スクール構想 による新しい学びの スタイルの実現	<p>1 体育に関する指導（体力向上） ＊一校一運動・小中連携 の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯にわたり運動やスポーツを豊かに実践し、現在及び将来の体力の向上を図る実践力の育成を目指し、自ら進んで運動に親しみ、心身を鍛える指導 <p>2 安全に関する指導（学校安全）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活安全、交通安全及び防災に関する指導や情報技術の進展に伴う事件・事故の防止 また、非常時において、児童・生徒自ら適切に判断し、行動できるよう指導
教職員が協働して学 びの質を高める授業 改善・学校改善	<p>3 食育に関する指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食育に関することを中心に健康についての知識を身に付け、必要な情報を自ら収集し、適切な意思決定や行動選択を行い、積極的に健康な生活を実践することができるようにする指導 <p>4 心身の健康の保持増進に関する指導（健康教育）</p> <ul style="list-style-type: none"> ＊薬物乱用防止集会・思春期教室・性教育等 ○健康情報や性・薬物等に関する情報を正しく選択して適切に行動することができ、心身の成長発達に関して適切に理解し、行動することができるような指導
地域と共にある学校	<p>5 部活動（スポーツ少年団含む）等 ＊市スポーツ力向上促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○毎年度「学校の運動部活動に係る活動方針」を策定し、生徒が参加しやすい実施形態等を工夫するとともに、毎年度末に見直しを図る。 ○学期における社会体育活動（スポーツ少年団）の各競技指導者との連携を密に行い、学校経営方針に沿った適切な活動の推進 ○休養日や活動時間の設定による、短時間で合理的・効率的・効果的な指導

人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善

7 生徒指導の充実

目指すべき方向

基本的な生活習慣や態度を育て、自ら主体的に判断、行動し積極的に自己を生かしていくことができる心豊かで明るく伸びやかな児童生徒の育成に努めます。

目標

- ① 児童生徒が主体的に判断、行動し積極的に自己を生かしていくことができるよう、自己指導能力の育成に努める。
- ② 児童生徒理解に基づいた生徒指導を適切な生徒指導・教育相談体制のもとで行い、教師と児童生徒の信頼関係および児童生徒相互の好ましい人間関係を育てる。
- ③ 生徒指導4つのポイントを生かした授業の充実、自己有用感を育てる学級経営、学年経営を充実させ「学級・学習における居場所」「活躍の場」「絆」づくりを推進する。
- ④ 家庭・地域との信頼関係を築き、共通した課題意識を基盤とした指導・支援の充実に努める。
- ⑤ 児童生徒の実態把握に努め、いじめや不登校、その他問題行動等の未然防止を図る。

現状と課題

- 不登校児童生徒の小学校児童の増加、中学校生徒の減少および要因の多様化
- 児童生徒間暴力やいじめ認知数の増加
- SNS を介した諸問題対応に苦慮している。
- 他部署との円滑な情報連携および行動連携が図られてきている。

めざす子供像

- 自分自身と仲間を大切にできる児童生徒
- 自分で考え、判断、行動し、問題解決ができる児童生徒
- 自分のよさや興味関心を生かし、自発的に学ぶことができる児童生徒

主 な 施 策	<ul style="list-style-type: none"> ○不登校・いじめ問題対策連絡協議会 ○いじめ問題対策審議会 ○小中生徒指導主任・教育相談担当研修会（警察署との連携） ○児童生徒指導関連研修会 ○不登校問題対策支援訪問（スクリーニングシート活用） ○県/市 SSWr・校内自立支援員合同研修会（SV研修会含む） ○心理士による学校支援訪問（児童生徒の見取りからフィードバック） 	人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスチャワー・評価改善
GIGA スクール構想による新しい学びのスタイルの実現	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒指導の4つのポイントを生かした授業の充実（「自己存在感」「共感的な人間関係」「自己決定の場」「安全・安心な風土の醸成」） ○授業における基本事項・共通実践項目の徹底 ○全ての児童生徒に活躍する場を与える取組の推進 	
教職員が協働して学びの質を高める授業改善・学校改善	<ul style="list-style-type: none"> ○ガイダンスとカウンセリング機能の充実 ○「一人一人の居場所」「活躍の場」づくりを意識した経営の充実 ○アンケートや教育相談等での実態把握、早期発見・早期対応（いじめ防止） 	
地域と共にある学校	<ul style="list-style-type: none"> ○支持的風土・互いに認め合い、支え合う風土の醸成を図る学校・学級経営 ○学びに向かう集団づくり（SELの実践） ○アセスメント調査の実施と活用 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○学校課題解決に向けた組織マネジメントを高める ○生徒指導 PDCA サイクル×3 を活用した指導体制の推進 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○学校・家庭・地域の連携の充実 ○中学校区生徒指導連絡協議会の機能化（情報連携・行動連携等） ○関係機関（福祉面）とのサポートチーム体制の構築と推進 	

8 キャリア教育の充実

目指すべき方向

一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育てるキャリア教育の推進に努めます。

目標

- ① 目的意識を持って、様々な人と協働し、社会を支える自立した人材の育成をする。
- ② 将来の社会的自立・職業的自立の基盤となる資質・能力・態度を育てる。

現状と課題

- 学校において、キャリア教育の全体計画が作成され、推進されている。
- 各学校における将来の社会的自立・職業的自立となる取組の工夫が必要である。

めざす子ども像

- 主体的に自己実現を図ろうとする児童生徒
- 学ぶ意欲を持ち、将来社会的自立に必要な資質・能力を身に付ける児童生徒

主な施策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの育成能力を踏まえた年間学習計画作成の指導助言 ○ 各中学校と連携し、職場体験によるキャリア教育推進事業の展開を図る。 ○ キャリア教育担当者研修会を実施し、学級活動内容(3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」等の指導の充実を図る
GIGA スクール構想による新しい学びのスタイルの実現	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャリア発達を促すために、身に付けさせたい4つの力「か」「ふ」「や」「み」視点を意識した授業づくり ○ 自立した学習者の育成のために、授業や教育活動にキャリア教育の視点(「かふやみ」「行動の振り返りや次へつなげる」等)や目的意識を児童生徒に意識させていく。 ○ 「授業と家庭学習が往還する学習サイクル」を構築することで学びの基盤をつくり、「自学自習力」の育成を図る。
教職員が協働して学びの質を高める授業改善・学校改善	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「身に付けさせたい力」を明確にした教育活動全体を通じたキャリア教育の充実 ○ 特別活動を要としたキャリア教育の充実 ○ 振り返りを意識した「キャリアパスポート」を活用し、12年間の学びの履歴をつなぐ ○ 進路指導をキャリア教育の中核と捉え、主体的に進路を選択できる力の育成
地域と共にある学校	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職場体験活動(小：職場見学、中：職場体験)の充実を図る。 ○ 相談活動・ガイダンス機能を充実させた進路指導と進路情報の家庭への積極的な情報提供
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「基礎的・汎用的能力」4つの育成能力を踏まえた年間学習計画作成 <ul style="list-style-type: none"> ① 人間関係形成・社会形成能力 ② 自己理解・自己管理能力 ③ 課題対応能力 ④ キャリアプランニング能力 ○ 「学ぶ意義」や「学び・育ちの実感」を積み重ねていく学校教育活動の工夫・改善 ○ カリキュラム・マネジメントの視点に基づいた共通実践
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 卒業生や地域人材等を活用して、学校生活と将来の職業のつながりについての進路学習会等を実施 ○ 地域学校協働活動との関連

人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善

9 特別活動の充実

目指すべき方向

自ら学び考え、自らを律しつつ他者と協働できる豊かな人間性・社会性の育成を図る特別活動の充実に努めます。

目標

- ① 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動で必要となることを理解し、行動の仕方を身に付ける。
- ② 集団や自己の生活、人間関係の課題を解決するために、合意形成を図ったり、意思決定ができるようにする。
- ③ 身に付けたことを生かし、自己（人間として）の生き方についての考え（自覚）を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

現状と課題

- 集団活動や学校行事の工夫、児童会・生徒会活動の活性化を図っている。
- 小学校では、集会活動や係活動を通して友達と一緒に活動する楽しさを味わわせている。
- 中学校では、キャリア教育と関連させながら自治的活動が行われ、生徒の社会性、自立性の向上を図っている。
- 集団や自己の生活上の課題を解決するために、話し合い、合意形成を図ったり、意思決定する活動に課題がある。

めざすこども像

- 互いに協力し合って望ましい人間関係を築ける児童生徒
- 自分のよさや可能性を学校生活の中で、積極的に生かすことができる児童生徒
- 体験活動等を通して、自分の将来について考え、生かすことができる児童生徒

主な施策	<ul style="list-style-type: none"> ○全体計画及び年間指導計画を基にした特別活動の充実に向けた支援 ○「うるま市中学生フォーラム」の開催 ○児童会・生徒会担当者研修会 ○学習過程を踏まえた授業展開を図る研修会の実施 	人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善
GIGA スクール構想による新しい学びのスタイルの実現	<ul style="list-style-type: none"> ○学習過程を踏まえた話し合い活動の授業スタイル確立（合意形成・意思決定） ○学級活動サイクル（PDCA）に取組み、主体的な態度を育む。 ○生徒指導の4つのポイントを生かした授業改善 ○係活動や児童会・生徒会活動等を通じた望ましい人間関係の構築 ○学校行事やクラブ活動（小）での異年齢の児童生徒の交流を通して、個性の伸長を図りながら、資質・能力の育成を目指す。 	
教職員が協働して学びの質を高める授業改善・学校改善	<ul style="list-style-type: none"> ○特別活動の教育的意義理解と、学校全体での組織的な推進 ○育てたい資質・能力を明確にした、具体的・実践的な全体計画の作成 ○道徳教育・生徒指導の重点化などを踏まえた指導内容の重点化を図る ○学級活動と児童会・生徒会活動との連動 ○「キャリア・パスポート」の効果的な活用 	
地域と共にある学校	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒理解（行動観察・アセス等の活用）による早めの指導・支援体制の構築 ○教師の意図的、計画的な指導とこどもの主体的な活動による支持的風土をつくる学校・学級経営の充実（ガイダンスとカウンセリング） ○児童生徒と共に話し合い、決定した学級目標の設定（教室掲示用） ○魅力ある学校づくりの柱として、「汎用的な力」を育成し、社会に貢献する喜びを得られる児童生徒の自主的・実践的な集団活動の充実を図る。 ○学校課題解決に向けた組織マネジメント機能の向上 ○学級・学年経営や学級活動に関する校内研修やOJTの実施 ○年間を見通した年度初めの学年・学級開きの強化 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○自然や伝統・文化とのふれあいや地域の人々との幅広い交流 ○地域人材・物的資源の効果的な活用 ○研究授業（ブロック）等を活用して、小中や小小連携を推進する。（学校間の交流等） 	

10 特別支援教育の充実

目指すべき方向

障がいのある児童生徒が自立し、社会参加するための基盤を培う教育の充実に努めます

目標

- ① 障がいのある児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は、克服するための適切な指導や必要な支援を行う
- ② 特別支援教育に関する校内教育支援委員会等の設置や特別支援教育コーディネーターを中心とした支援体制の構築と、全職員が一体となった組織的な取組を推進する

現状と課題

- 特別支援学級 140 学級、言語通級指導教室 1 学級、発達障害通級指導教室 2 学級
- 特別支援教育コーディネーターを中心とした校内教育支援委員会を機能的に活用し、校内体制の充実に努めている

めざす子ども像

- 自己の自立や社会参加に向けて持てる力を発揮できる児童生徒
- 正しい障がい理解、自己理解、他者理解を深める児童生徒

主な施策	<ul style="list-style-type: none"> ○うるま市教育支援委員会 ○うるま市特別支援学級担任等合同研修会 ○教育支援担当者会 ○特別支援教育アドバイザーによる巡回相談 ○言語聴覚士による訓練-相談 ○特別支援教育支援員・医療的ケア看護職員の配置及び研修会の実施 ○うるま市特別支援教育研究会、中頭難聴・言語障害研究会との連携 ○関係機関との連携した取組の実施（うるま市教福連携プロジェクト）
GIGA スクール構想による新しい学びのスタイルの実現	個々の特性に応じた指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○校内教育支援委員会において個の実態の把握と支援方法の検討 ○生活や学習上の困難さに関する実態把握を行い、効果的な ICT 活用、担任による継続した個別指導の実践（UD 及び UDL の視点に立った授業づくり） ○生徒指導 4 つのポイントを活かした授業の実践 ○児童生徒の障がいの特性に応じた「自立活動」の充実
	児童生徒の実態把握に基づく組織的・計画的な取組 <ul style="list-style-type: none"> ○個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成、活用、見直し、保幼こ・小・中学校間の確実な引継ぎ ○教育相談や生徒指導と連携したチームとしての対応の充実（共通理解・共通実践） ○校内研修や OJT を通じた特別な支援を必要とする児童生徒への指導方法や指導上の留意点等についての理解深化、専門性の向上
教職員が協働して学びの質を高める授業改善・学校改善	児童生徒理解に基づく学校・学級経営 ～全ての子が過ごしやすい学校・学級～ <ul style="list-style-type: none"> ○特別支援学級の弾力的な運用、恒常的な体験入学等の実施 ○確かな児童生徒理解（行動観察、心理検査・アセス等の活用、保護者との連携） ○支持的な風土をつくる学校、学級経営（SEL、特別活動の充実） ○合理的配慮（教育的ニーズに応じた指導）の適切な提供 ○特別支援教育支援員や医療的ケア看護職員の効果的な活用
	カリキュラムマネジメントの視点に基づく校内支援体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ○校長のリーダーシップのもと、学校経営計画に基本方針を示し、全教職員が協力し、組織的、計画的な支援を推進（個別の指導計画の活用・評価・引継ぎ） ○個に応じた教育課程の編成 ○校内教育支援委員会の機能化に努め、丁寧な教育相談や就学支援を継続的に実施 ○特別支援教育コーディネーター → 全職員協働体制 → 校内研修
地域と共にある学校	切れ目のない支援の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○交流及び共同学習の充実 ○保幼こ・小・中やうるま市教育支援委員会、教育相談員、臨床心理士、作業療法士、言語聴覚士・うるまこどもステーション等と連携した取組の推進 ○トライアングルプロジェクト（教育・福祉・家庭の一層の連携）の推進 ○特別支援学校のセンター的役割としての活用

人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスチャワー・評価改善

1 1 安全教育・防災教育の充実

目指すべき方向

自他の生命尊重を基盤として、自ら安全に行動し、安全な社会づくりに貢献できる資質や能力を育成するとともに、児童生徒の安全確保に努めます。

目標

- ① 児童生徒が、安全で安心して学校生活を過ごせるような環境づくりに努める。
- ② 学校安全計画、危機管理マニュアル等を活用した安全指導の充実に努める。
- ③ 児童生徒が、登下校を含め地域で安心して生活できるように、家庭や地域社会、関係機関・団体と連携した取組を推進する。

現状と課題

- 登下校時、道路を横断する際に起きた自動車との接触事故（13件）
- ふざけ合い等の中で起きたケガ（22件）
- 学校等からの不審者情報（25件）

めざす子供像

- 安全に行動するために決まりを守ることができる児童生徒
- 自分や他人の生命を尊重し、大切にできる児童生徒
- 危険を予測して、正しい判断、行動ができる児童生徒

主 な 施 策	○交通安全教室 ○学校安全担当者会 ○通学路安全点検（学校教育課・学校など）
GIGA スクール構想 による新しい学びの スタイルの実現	○学校安全計画の作成と活用（定期的、日常的な点検、情報の収集） ○児童生徒による地域安全マップの作成を通じた危機回避能力の育成 ○児童生徒の安全に対する意識の高揚を図る取組の推進
	○安全点検表等による定期的、臨時的、日常的な安全点検の徹底 ○避難訓練、校内研修、各教科における「危機管理マニュアル」の効果的活用
教職員が協働して学 びの質を高める授業 改善・学校改善	○防犯・防災訓練、交通安全教室による児童生徒の危機回避能力の育成 ○児童生徒が安心して学べる場となるような校舎内外の学習環境の整備・充実 ○危険箇所への早期対応と安全対策の表示等の徹底
	○各校の実情に応じた独自の「危機管理マニュアル」の作成 ○円滑な安全教育、安全管理のための学校安全体制の構築
地域と共にある学校	○保護者及び地域、関係機関等と連携した学校安全教育の充実 ○不審者情報の発信や注意喚起、地域巡回の実施 ○通学路安全点検の実施と危険箇所についての安全マップ作成 ○市教委、警察署、道路管理者と連携した危険箇所の改善 ○保護者、地域関係者を含む「危機管理マニュアル検討委員会」の設置

人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善

1 2 人権教育の充実

目指すべき方向

教育活動全体を通し、人権の意義や重要性を理解させ、自他ともに大切にすることを育成するため、人権教育の充実に努めます。

目標

- ①児童生徒が発達段階に応じ、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重していくことができるようになり、様々な場面等で具体的な態度や行動に現れるようにする。
- ②日常的なかかわりの中で、教職員と児童生徒間の信頼関係づくり、児童生徒相互の人間関係づくりに努め、共生の心を育てる。

現状と課題

- 各学校において「人権を考える日」を設定している。
- 人権に関する授業の実践を行っている。
- 社会性の未熟さから、人間関係を調整する能力に課題がある児童生徒がおり、いじめや対人トラブルが生じている。

めざすこども像

- 多様な他者との「違い」を豊かにとらえることができる児童生徒。
- 自分の大切さや他の人の大切さが認められていることを実感できる児童生徒
- 自分の人権を守り、他の人の人権を守るための実践的な行動ができる児童生徒

主 な 施 策	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒の学校生活や日常生活における様々な困難や悩みに対して、必要な支援が受けられるよう、関係機関と連絡を密にする。 ○「人権を考える日」の設定及び「生徒指導提要」、「沖縄県性の多様性尊重宣言」、「人権教育の指導方法等の在り方について」の活用等、人権感覚を身に付ける取組の充実を支援する。 ○コミュニケーションの能力の向上を図るため、SEL や特別活動の充実のための研修を実施する。 ○人権擁護委員を活用した「人権教室」の計画的な実施を支援する。 	人を大切に「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善
GIGA スクール構想による新しい学びのスタイルの実現	<ul style="list-style-type: none"> ○各教科等において、互いの考えや気持ちを適切かつ豊かに表現し、理解する活動を積極的に行い、コミュニケーション能力を育む。 ○人権感覚を身につけるため、学校生活全体で自他が認められ大切にされていることを実感できるよう教育活動の充実を図る。 ○「信頼される教職員をめざして」等の資料を活用した人権教育に関する校内研修等で、人権感覚と人権に関する理解を深め、全職員体制で組織的・計画的な指導に努める。 	
教職員が協働して学びの質を高める授業改善・学校改善	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒や教職員の人権意識を高めるため「人権を考える日」を位置づけ、児童生徒の実態や課題に応じた指導計画を作成するとともに、指導方法を工夫する。 ○自己効力感、自己有用感を感じ、自尊感情の高まりが得られる学級経営を目指し、自他を大切にすることを養う。 ○自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重していくことができるよう支持的風土の醸成に努める。 	
地域と共にある学校	<ul style="list-style-type: none"> ○各学期や年度ごとに活動の点検・評価を行い、指導の改善に生かすことで、人権教育の充実を図る。 ○家庭や地域、関係機関と連携し、講話やボランティア活動、社会体験活動、高齢者や障がい者等との交流など、豊かな体験の機会の充実を図り、指導の工夫・改善に努める。 	

1 3 平和教育の充実

目指すべき方向

平和教育の充実に努め、生命の尊重や個人の尊厳を基盤に「思いやりの心」や「寛容」、「相互理解」など豊かな心や平和を希求する心を育みます。

目標

- ①平和で持続可能な社会の形成者となるため、生命の尊重と個人の尊厳を基盤に、思いやりの心や寛容の心を育む。
- ②自国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度の育成及び次世代に継承していこうとする態度を育成する。

現状と課題

- 地域状況や発達段階に応じた平和学習が展開されている。
- 体験的な活動を実施している。
- 教育活動全体で取り組む必要がある。
- 戦争体験者の高齢化により、語り手が減少している。

めざす子ども像

- 「違い」への寛容な態度と「平等」の感覚を身に付けた児童生徒。
- 異なる意見や文化を理解し、よりよい人間関係を構築できる児童生徒。

主 な 施 策	<ul style="list-style-type: none"> ○沖縄県及びうるま市内の地域教材及び人材活用の充実を支援する。 (「慰霊の日」、「海から豚がやってきた」、「沖縄本土復帰」等に関連する資料の提供と活用方法等の周知)。 ○うるま市教育委員会ポータルサイトを内に平和教育に関するコンテンツを示し、平和学習の充実を支援する。 ○戦争体験者の高齢化により語り手が減少する中、教職員の初任者研修等において平和教育を位置付け、教師の指導力の向上を図るとともに、研鑽を深める。 	人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善
GIGA スクール構想による新しい学びのスタイルの実現	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒が「問い」を持って平和について主体的に考えることができる平和教育を推進する ○平和学習ポータルサイトを活用し、地域の戦跡や 資料館、証言等の文献などを調べたり、実地調査を行ったりする等、体験的な学習を行う。 ○沖縄県の歴史的特性に基づき、沖縄戦の実装や教訓を継承し、平和の大切さを自ら発信し、平和を構築できる児童生徒の育成に努める。 ○学校教育全体を通じ、平和に対する多様な考え方や異なる文化を理解する態度を育成するため、指導方法の工夫・改善を図る。 	
教職員が協働して学びの質を高める授業改善・学校改善	<ul style="list-style-type: none"> ○平和教育の指導の在り方について研修の機会を持ち、教職員間で共通理解を図る。 ○「慰霊の日」などに関する授業の充実を図るため、平和教育月間等を設け、平和教育を推進する。 	
地域と共にある学校	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒の発達の段階に応じた平和教育を教育活動全体を通して推進する ○小学校では、栽培活動等の体験的学習を通して、生命を慈しみ大切にする心を育て、友達との遊びやふれあいの中から、思いやりの心、寛容の心を育成するよう努める。 ○中学校では、生命の尊重や個人の尊厳、国際社会の平和に関する具体的な認識と、紛争問題への総合的な把握力、探求能力を育てるよう努める ○校内に推進組織を位置付けるなど全職員による指導体制の確立に努める ○各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動の目標や内容との関連を明確にしなが、各教科等の年間指導計画に位置付ける ○活動の点検・評価を行い、指導の改善に生かす。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○体験的な学習や地域人材の活用など指導方法の工夫・改善を図る。 ○郷土の歴史を教材化し、その中で平和の尊さを指導する。 	

1 4 国際理解教育・外国語教育の充実

目指すべき方向

国際理解教育・外国語教育の充実を図るとともに、児童生徒の国際交流事業を計画・実施し、国際社会の中で活躍できる人材の育成に努めます。

目標

- ① 広い視野を持ち、郷土を愛し、異なる文化を持った人々と共に協調していく資質や能力をもつ人材を育成する。
- ② 小学校段階からの国際理解教育を図り、あわせてコミュニケーションの手段として外国語(英語)に慣れ親しませ、中学校外国語(英語)教育との円滑な接続と学びの連続性を踏まえた外国語(英語)によるコミュニケーション能力を育成する。

現状と課題

- 小学校第3・4学年の外国語活動、第5・6学年の外国語科の授業において担任とALT(外国語指導助手)がT・Tによる授業を実施
- 令和6年度英語検定合格者数名【合格率58.8% (345/587)、前年度50.9% (985/1934)】

めざすこども像

- 広い視野を持ち、異なる文化を理解し、郷土を誇れる児童生徒
- 英語でコミュニケーションを図れる児童生徒

主 な 施 策	<ul style="list-style-type: none"> ○ALT (外国語指導助手) 配置 ○中学校英語スキットコンペティション、まちなか留学 ○市英語等検定料補助金交付事業(実用英語技能検定(英検)の受検費用補助) ○イングリッシュキャンプ (小学5/6年対象) 	人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善
GIGA スクール構想による新しい学びのスタイルの実現	<ul style="list-style-type: none"> ○単元を見通した資質・能力を育む授業改善・校内研究 ○生徒指導の4つのポイントを生かした授業 ○よさや進捗状況の積極的評価 ○語彙数の増加に伴う、より多くの語に触れる機会の提供 	
教職員が協働して学びの質を高める授業改善・学校改善	<ul style="list-style-type: none"> ○調査分析に基づく児童・生徒の実態認識を共有 ○「話すこと(やりとり)」領域を踏まえた言語活動の継続的指導 ○言語活動を通じた、新しい文法事項の導入 ○視点・観点をそろえた評価の実施 	
地域と共にある学校	<ul style="list-style-type: none"> ○ALT とのチーム・ティーチングの充実によるコミュニケーション能力の育成 ○英語検定等の技能試験に向けての指導 ○世界とつなぐオンライン学習・国際交流プラットフォーム「World Classroom」の試験導入 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校での指導を踏まえ、中学校において5つの領域の言語活動を通じた、英語によるコミュニケーション能力の育成 ○諸学力調査の結果分析に基づくカリキュラムマネジメントを意識した授業改善 ○授業と家庭学習を結ぶ往還的な学習サイクルの確立・学びを生かすテスト改善 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校外国語担当と中学校英語科との連携 ○国際理解教育の充実(郷土の自然・歴史・文化や生活習慣などの紹介) ○地域人材等を活用した、異文化交流、異文化体験、英会話の体験等、学習したことのアウトプットの機会の提供 	

1 5 情報教育の充実（情報モラルを含む情報活用能力の育成）

目指すべき方向

情報を主体的に捉え、見いだした情報を活用しながら他者と協働し、新たな価値の創造に向けて取り組むことのできる児童生徒を育むため、情報モラルを含む情報活用能力の育成に努めます。

目標

- ① 「学習基盤としての ICT」を積極的に活用して、児童生徒の情報活用能力を育成する。
- ② 研修を通して教師の ICT 活用力の向上を図り、学びの質的改善を推進する。
- ③ 発達段階や児童生徒の実態に応じた情報モラルに関する学習を組織的・計画的に進める。
- ④ 各教科等におけるプログラミング教育を通して、プログラミング的思考を育む。

現状と課題

- 令和 6 年 9 月に市立小・中学校における電子黒板の更新が完了。
- ICT 支援員 5 名を配置して授業等における ICT 機器の活用が進むよう支援。
- 児童生徒の情報活用能力育成に向けては、教師の更なる指導力の向上が必要。
- プログラミング教育の充実を目指した Scratch の導入。
- SNS に関する児童生徒同士のトラブルが毎年発生しており、情報モラルに関する継続的な学習が必要。

めざす子ども像，教師像

子ども像	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的に学び、自らの考えを伝えるとともに、他者の考えを理解する児童生徒 ○他者と協働して、新たな価値を見出し、問題を解決しようとする児童生徒
教師像	<ul style="list-style-type: none"> ○「学習基盤としての ICT」を積極的に活用し、学びの質的改善に努める教師 ○主体的に学び続けるとともに、同僚性を発揮してチームで高まり合うことのできる教師

主な施策	<ul style="list-style-type: none"> ○計画的な情報教育担当者研修会の開催 ○各種 ICT 活用研修会の開催 ○情報モラルに関する学習の補足資料として LINE みらい財団提供教材の展開 	人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善
GIGA スクール構想による新しい学びのスタイルの実現	<p>「学習基盤としての ICT」を活用した学びの質的改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一人一台端末や電子黒板など「学習基盤としての ICT」を積極的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、誰一人取り残されない形で「主体的・対話的で深い学び」に向けた学びの質的改善を推進する。 	
教職員が協働して学びの質を高める授業改善・学校改善	<p>対話や協議を通じた授業観転換の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○様々な研修の機会において、参加者の気付き等につながる対話やテーマを設定し深める協議を行うことを通して、児童生徒が ICT を活用しながら自ら学びを調整し学んでいく姿を目指した授業観への転換を促す。 	
地域と共にある学校	<p>カリキュラム・マネジメントを生かした情報活用能力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○カリキュラム・マネジメントにより各教科等の特質を生かした教科等横断的な視点から教育課程の編成することを通して情報活用能力の育成を図る。 	
	<p>各教科等で扱われる情報モラルに関する学習の推進と補足資料の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各教科等で扱われる情報モラルに関する学習を推進するとともに LINE みらい財団提供の情報モラル教材を補足資料として展開し、取組の充実を図る。 	
	<p>家庭・地域と連携した情報モラルに関する意識の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○情報モラルの大切さを家庭・地域と共有し、理解と協力を得ながら連携して情報モラルに関する意識の向上を図る。 	

16 へき地・島しょ地域の教育の推進

目指すべき方向

へき地・島しょ地域では、小中連携を通して、地域に適した特色ある教育の推進に努めます。

目標

- ① へき地・島しょ地域の特性を生かした地域に根ざした教育課程の編成支援を行い、主体的で創造性豊かな自立心のある児童生徒の育成に努める。
- ② 児童生徒一人一人の特性を把握し、少人数指導や複式学級における個に応じた指導を充実すると共に、交流学習を実施し、集団活動の充実に努める。

現状と課題

- 彩橋小中学校、津堅小中学校の2校。
- 豊かな自然環境に恵まれ、地域の積極的な協力が得やすい。
- 地域行事に関わる機会が多く、地域に根ざした教育が推進できる。
- 津堅小中学校は複式学級を有し、教師の創意工夫のもとに複式授業が行われている。
- 少人数のため人間関係の固定化が見られ、集団での活動経験や交流の機会が不足している。
- 特別支援教育を必要とする児童生徒の割合が高い。
- 今年度より、「島しょ地域の探究学習」を計画・実施し、社会に開かれた教育課程を実践する。

めざす子ども像

- 夢や希望を持ち、その実現に向けて粘り強く取り組む児童生徒
- 地域に誇りを持ち、地域の良さを発信することができる児童生徒
- 社会に関心を持ち、広い視野を持って学習に取り組むことができる児童生徒

主な施策	<ul style="list-style-type: none"> ○へき地児童生徒援助費補助金事業 ○彩橋小中学校通学支援費補助 ○島しょ地域の探究学習事業、うるま探究プロジェクト 	人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善
GIGA スクール構想による新しい学びのスタイルの実現	<ul style="list-style-type: none"> ○少人数、複式指導による個に応じた細やかな指導の充実 ○自学自習力を育成し、複式授業における間接指導の充実を図る。 ○ICT 端末の活用を促進し、情報活用能力や表現力を育成する。 	
教職員が協働して学びの質を高める授業改善・学校改善	<ul style="list-style-type: none"> ○小中学部会や小中学生指導、教育相談部会等小中連携した取組の充実 ○合同学習、集合学習、交流学習*を通し、集団での学習の充実に取り組む。 ○県や九州のへき地教育研究大会への参加を通し、へき地校の課題解決に向けた取組の充実に努め、授業力等の向上を図る。 	
地域と共にある学校	<ul style="list-style-type: none"> ○交流学習を通して多くの同年代の子どもたちとの関わりを持つことで、自主性や社会性を育て、中学卒業後を見据えた指導を行う。(SEL・SST など) ○UD及びUDLの視点に立った授業づくり・実践に取り組む。 ○9年間を見通した学校組織体制の構築 ○保幼こ・小・中学校を通して子どもたちの育ちや生活指導、学習指導等、個々の情報を共有し合い、カリキュラムマネジメントの視点に基づいた共通実践に取り組む。 	

※合同学習・・・1つの学校で、2学級以上の児童生徒と一緒に学習し、一定の人数の集団が必要な学習や異年齢集団のよさを生かした学習を展開する教育方法
 ※集合学習・・・近隣の2校以上の児童生徒が一か所に集まり、各領域などの指導の計画の一部の学習活動を各学校の教師の協力的な指導により展開する教育方法
 ※交流学習・・・学校規模や生活環境の異なる学校間で姉妹校的な関係を結び、それぞれの学校が単独では体験できない学習や生活をさせる教育方法

17 市民協働学校（コミュニティ・スクール）の促進

目指すべき方向

学校と保護者・地域住民が連携し、相互に知恵を出し合い協働し「わったーわらびんちゃー」を合言葉に社会総がかりでこどもの学び・育ちを支える地域づくりを促進する。

目標

- ①学校と地域は「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という目標を共有し、社会と連携・協働しながら、未来の創り手となる子ども達のために必要な資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」の実現を図る。
- ②学校運営協議会を通して、地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを促進する。

現状と課題

- 地域住民等の理解と協力を得て、地域の特色を生かした授業づくりが行われている。
- 子ども達に地域に対する誇りや地域の担い手としての自覚が高まってきている。
- 学習支援ボランティアの人員の確保や多様な活動、継続的な活動の維持及び推進に課題。

めざす子ども像

- 生まれ育った地域のよさに気づき、「生きる力」を育む学校及び地域への「愛着心」をもつことによって、心穏やかに学校生活を送る児童生徒
- 学校づくりに参画する大人と接することで次の地域の担い手を志す児童生徒

教育委員会の取組

- 各学校運営協議会への支援体制の構築を図る。
- 地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)の活用。
- 学校運営協議会合同研修会（6月、10月）を開催し、学校運営協議会制度に係る意見交換や市内各学校取り組み事例の共有化等を図る。

「社会に開かれた教育課程」の実現

- ① 行政及び学校は、市民に対し市民協働学校（学校運営協議会制度）の目的・仕組みについて理解を図る。
- ② 学校は、市民協働学校において地域でどのような子ども達を育てるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンについて、保護者、地域住民等と共有し、できることから実践する。
- ③ 市民協働学校において、学校の課題について地域住民等と共有し、対応策について熟議する。
- ④ 学校は、地域連携担当職員及び地域学校協働活動推進員を中心に、地域と協働による授業や体験活動等が円滑に行われるよう努める。
- ⑤ 学校、保護者及び地域は、それぞれの役割を明確にして連携し、地域人材を活用し「社会に開かれた教育課程」の実現に努める。
- ⑥ 学校教育情報を積極的に保護者・地域住民へ周知する。

18 研究・研修

目指すべき方向

本市の教育の現状をふまえ、これからの時代をたくましく生きる子どもの育成を図るため、学校教育に関する研究、教育関係職員の研修を実施します。

目標

- ① 本市の教育の課題に即した研究を行い、その成果等を教育関係者に提供する。
- ② 経年研修を中心に教育職員の研修を計画・実施し、求められる資質・能力の向上を図る。
- ③ 教育研究のための資料を収集して、教育関係者に提供する。

現状と課題

- 過去3年間の研究教員採用人数は、令和4年度3名、令和5年度1名、令和6年度1名。
- 過去3年間の教育実践グランプリ応募作品数の推移は、令和4年度10作品、令和5年度13作品、令和6年度9作品。
- 教師エージェンシーの高まりとその発揮を期待して、令和5年度より教育実践グランプリにアイデア部門を新設した。

めざす子ども像，教師像

子ども像	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的に学習に取り組み、自分自身の力で学びを獲得することができる児童生徒 ○他者と関わりながら課題解決に向けて協働的に取り組むことができる児童生徒
教師像	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもを主体とした学びづくりに取り組むことのできる教師 ○「不易と流行」を押さえながら主体的に学び続けることのできる教師

主な施策	<ul style="list-style-type: none"> ○研究教員に係る事業 ○経年研修を中心とした教員研修の計画・実施 ○教育実践グランプリの開催 	人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善
GIGA スクール構想による新しい学びのスタイルの実現	<p>心理的安全性のある学習環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○支持的風土の醸成を生かした授業づくり ○生徒指導実践上の4つのポイント（自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成）を生かした授業実践 <p>組織的共通実践による学びの質的改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ICTを積極的に活用し、子どもを主体とした授業の展開 ○「指導と評価の一体化」の実現を目指したPDCAサイクルの確立 	
教職員が協働して学びの質を高める授業改善・学校改善	<p>一人一人の学び・育ちに寄り添う支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○必要な子への重点的支援や特性等に応じた教材提供などの「指導の個別化」の充実 ○学習が最適となるよう児童生徒自身が調整する「学習の個性化」の充実 <p>組織的マネジメントの視点を生かした研修体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ○沖縄県公立学校教員等育成指標の視点に基づく組織的教員等育成 ○教員一人一人の資質能力向上及びチーム学校の一員として連携・協働できる体制の構築 	
地域と共にある学校	<p>家庭・地域及び中学校ブロック連携の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校・家庭・地域の互恵的な関係づくり ○児童生徒の学び・育ちを見通した中学校ブロックでの連携した取組の充実 	

19 事業計画

令和7年度 教職員研修等事業

1 市定例校長会：担当／甲斐

	日時	議題	場所	種別	履歴対象
①	4月22日(火)	市内小中校長顔合わせ・教育長/部長あいさつ・行政説明	西棟4階 全員協議会室	職務	—
②	5月22日(木)	教育長/部長あいさつ・行政説明/スクールロイヤー研修	西棟3階 第一会議室		○
③	6月19日(木)	教育長/部長あいさつ・行政説明	西棟3階 第一会議室		○
④	7月8日(火)	教育長/部長あいさつ・行政説明	西棟3階 第一会議室		○
⑤	8月20日(水)	教育長/部長あいさつ・行政説明	西棟3階 第一会議室		○
⑥	9月11日(木)	教育長/部長あいさつ・行政説明	西棟3階 第一会議室		○
⑦	10月17日(金)	教育長/部長あいさつ・行政説明	西棟3階 第一会議室		○
⑧	11月20日(木)	教育長/部長あいさつ・行政説明	西棟3階 第一会議室		○
⑨	12月16日(火)	教育長/部長あいさつ・行政説明	西棟3階 第一会議室		○
⑩	1月15日(木)	教育長/部長あいさつ・行政説明	西棟3階 第一会議室		○
⑪	2月13日(金)	臨時校長会(定期人事異動内示)	西棟3階 第一会議室		—
⑫	3月11日(水)	教育長あいさつ・退職者/市外異動者あいさつ・行政説明	西棟3階 第一会議室		—

2 市定例教頭会：担当／仲吉

	日時	議題	場所	種別	履歴対象
①	4月24日(木)	市内小中教頭顔合わせ・教育長/部長あいさつ・行政説明	西棟3階 第一会議室	職務	—
②	5月21日(水)	対話的研修	あまわり パーク		○
③	7月9日(水)	教育長/部長あいさつ・行政説明	西棟3階 第一会議室		
④	8月20日(水)	オンライン視聴研修	各学校で視聴		
⑤	9月12日(金)	教育長/部長あいさつ・行政説明	西棟3階 第一会議室		
⑥	11月21日(金)	教育長/部長あいさつ・行政説明	西棟3階 第一会議室		
⑦	1月20日(火)	教育長/部長あいさつ・行政説明	西棟3階 第一会議室		
⑧	3月12日(木)	教育長あいさつ・退職者/市外異動者あいさつ・行政説明	西棟3階 第一会議室		

3 小・中学校生徒指導主任・教育相談担当研修会：担当／喜友名・仲吉

	日時	研修内容等	場所	種別	履歴対象
①	4月24日(木)	行政説明/各学校前年度の成果と課題、今年度の取組協議	ゆらてく	職務	○
②	7月2日(水)	行政説明/児童生徒理解について、対応についての協議	ゆらてく		
③	10月9日(木)	行政説明/今年度の前半の成果と課題、後半に向けて協議	ゆらてく		
④	12月12日(金)	行政説明/各学校の組織的対応についての協議	ゆらてく		
⑤	2月4日(水)	行政説明/今年度の成果と課題、次年度の取組協議	市役所東棟 3階大講堂		

4 SSWr・教育相談担当者・自立支援員研修会：担当／仲吉

	日時	研修内容等	場所	種別	履歴対象
①	4月2日(水)	任用説明会・各関係機関顔合わせ	西棟3階 第一会議室	職務	—
②	4月10日(木)	各学校の相談活動など情報交換会	西棟3階 第一会議室		
③	5月30日(金)	各学校の相談活動など情報交換会	西棟3階 第一会議室		
④	6月27日(金)	S V研修会(予定)	西棟3階 中会議室		
⑤	7月25日(金)	各学校の相談活動など情報交換会	西棟3階 中会議室		
⑥	8月27日(水)	各学校の相談活動など情報交換会	西棟3階 第一会議室		
⑦	9月16日(火)	各学校の相談活動など情報交換会	西棟3階 中会議室		
⑧	10月10日(金)	各学校の相談活動など情報交換会	西棟3階 中会議室		
⑨	11月10日(月)	S V研修会(予定)	西棟3階 第一会議室		
⑩	12月4日(木)	各学校の相談活動など情報交換会	西棟3階 中会議室		
⑪	1月8日(木)	各学校の相談活動など情報交換会	西棟3階 第一会議室		
⑫	2月2日(月)	各学校の相談活動など情報交換会	西棟3階 第一会議室		
⑬	3月2日(月)	各学校の相談活動など情報交換会	西棟3階 第一会議室		

5 学力向上推進担当者研修会：担当／服部

	日時	研修内容等	場所	種別	履歴対象
①	5月8日(木)	うるまのみらいの推進に向けて(対話型研修)	西棟3階 第一会議室	課題	○
②	10月15日(水)	各学校の良さと課題・情報共有(対話型研修)			
③	2月4日(水)	まとめと次年度計画(対話型研修)			

6 学力向上支援員研修会：担当／服部

※午後2時間分の出勤に該当

	日時	研修内容等	場所	種別	履歴対象
①	4月4日(金)	服務指導、勤務形態、業務確認、心構え等	西棟3階 第一会議室	職務	—
②	7月23日(水)	豊かな関わりを中心とした支援のあり方(対話型研修)			
③	12月24日(水)	成果と課題・改善策、次年度に向けて(対話型研修)			

7 研究主任研修会：担当／服部

	日時	研修内容等	場所	種別	履歴対象
①	5月12日(月)	うるまのみらいの推進に向けて(対話型研修)	西棟3階 第一会議室	課題	○
②	12月5日(金)	各学校の良さと課題・情報共有(対話型研修)			
③	2月16日(月)	まとめと次年度計画(対話型研修)			

8 学推予算「魅力ある学校づくり活動費」申請者研修会：担当／服部

対象者：令和6年度「魅力ある学校づくり活動費」を申請した学校の担当者・申請者

	日時	研修内容等	場所	種別	履歴対象
①	4月15日(火)	学推予算の申請から執行、報告までの流れ	西棟3階 第一会議室	職務	—

9 ファシリテーション研修会：担当／服部

対象者：組織のチームづくりや研修づくりに関心のある教職員(申込制)

	日時	研修内容等	場所	種別	履歴対象
①	5月21日(水)	ファシリテーションとは?(対話型研修)	あまわりパー ク 多目的室	課題	○
②	7月24日(木)	行事・学校の教育活動などを振り返る(対話型研修)			
③	11月21日(金)	実践の振り返り・問いの探求(対話型研修)			

10 学力向上推進協議会総会・三部会：担当／名嘉村・服部

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	4月24日(水)	総会提案事項の確認	紙面にて	課題	—
②	5月22日(木)	・事業報告／本年度事業計画(総会) ・R7年度の計画確認(三部会)	オンライン (担当校)		
③	3月下旬	事業反省・次年度計画の確認	紙面にて		

11 中学校ブロック小中連携事業：担当／服部

	日時	研修内容等(講師名)	場所	種別	研修履歴
①	8月29日(金)	(与勝第二中ブロック)公開授業及び対話	与勝第二中学校	課題	○
②	9月18日(木)	(高江洲中ブロック)公開授業及び対話	高江洲中学校		
③	8月29日(金)	(あげな中ブロック)公開授業及び対話	あげな小学校		
④	6月20日(金)	(具志川中ブロック)公開授業及び対話	具志川中学校		
⑤	9月19日(月)	(石川中ブロック)公開授業及び対話	城前小学校		
⑥	6月24日(火)	(与勝中ブロック)公開授業及び対話	与那城小学校		
⑦	9月26日(金)	(伊波中ブロック)公開授業及び対話	伊波中学校		
⑧	6月24日(火)	(具志川東中ブロック)公開授業及び対話	具志川東中学校		

12 日本語教育支援員研修会：担当／名嘉村

※午後2時間分の出勤に該当

	日時	研修内容等	場所	種別	履歴対象
①	4月11日(金)	服務規律及び職務内容等説明、令和7年度実践確認	西棟3階 中会議室	職務	—
②	12月12日(金)	2学期ふり返り、情報交換会、好事例共有			

13 小学生イングリッシュキャンプ：担当／名嘉村

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	7月21日(月)～ 7月24日(木) (予定)	イングリッシュキャンプ(小学5・6年対象)	金武町ネイチャーみらい館 他	その他	—

14 教職員研修(1)全体研修：担当／名嘉村・又吉

	日時	研修内容等(講師名)	場所	種別	研修履歴
①	4月3日(木) 午後	市教職員全体研修会①	各学校 オンライン	職務	○
②	7月25日(金) 午後	市教職員全体研修会②	各学校 オンライン		

15 教職員研修(2) デジタル教材活用研修：担当/服部

	日時	研修内容等（講師名）	場所	種別	研修履歴
①	6～12月	(小学校対象) すららドリル活用研修① (基本操作等)	オンライン	課題	○
②	6～12月	(小学校対象) すららドリル活用研修② (管理画面・配信)			
③	6～12月	(小学校対象) すららドリル活用研修③ (テスト作成)			
④	7月8日(火)	(中学校対象) スタディサプリ活用研修① (基本操作等)	オンライン	課題	○
⑤	7月10日(火)	(中学校対象) スタディサプリ活用研修② (管理画面・配信)			
※ 上記については、希望者を対象に参集型もしくはオンラインにて研修を実施いたします。 ※ 上記の内容以外にも、デジタル教材の各学校の活用状況をモニターし、支援が必要な学校や先生方については指導主事やICT支援員を派遣し、随時、伴走支援いたします。					

16 学校訪問：担当/名嘉村(当初訪問)・又吉(GIGA推進)・仲吉(不登校対応)

	日時	学校名	訪問種	種別	研修履歴
①	5月9日(金)	伊波小学校	当初・午前	課題	—
②	5月16日(金)	与勝中学校	当初・午前		
③	5月19日(月)	勝連小学校	当初・午前		
④	5月23日(金)	津堅小中学校	当初・午前		
⑤	5月29日(木)	川崎小学校	当初・午後		
⑥	5月30日(金)	天願小学校	当初・午後		
⑦	6月3日(火)	あげな小学校	当初・午後		
⑧	6月6日(金)	彩橋小中学校	当初・午前		
⑨	6月10日(火)	宮森小学校	GIGA・午前		
⑩		南原小学校	GIGA・午後		
⑪	6月11日(水)	与那城小学校	GIGA・午前		
⑫		城前小学校	GIGA・午後		
⑬	6月12日(木)	石川中学校	GIGA・午前		
⑭		与勝第二中学校	GIGA・午後		
⑮	6月16日(月)	平敷屋小学校	GIGA・午前		
⑯		具志川小学校	GIGA・午後		
⑰	6月18日(月)	中原小学校	不登校・午前		
⑱		高江洲小学校	不登校・午後		
⑲	6月19日(木)	田場小学校	不登校・午後		

⑭	6月20日(金)	赤道小学校	不登校・午前		
⑮		兼原小学校	不登校・午後		
⑯	7月1日(火)	あげな中学校	不登校・午後		
⑰		具志川東中学校	不登校・午前		
⑱	7月4日(金)	伊波中学校	不登校・午後		
⑲		具志川中学校	不登校・午前		

17 中頭教育事務所訪問：担当／名嘉村

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	4月11日(金)	資質・能力向上推進訪問校等打合せ会(高江洲中)	オンライン	課題	—
②	8月28日(木)	中頭教育事務所・資質・能力向上推進訪問	高江洲中学校		

18 市特別支援教育支援員・医療的ケア看護職員研修会：担当 喜友名 (年3回)

	日時	研修内容等	場所
①	4月7日(月)	第1回 服務・業務内容・障がい特性理解 (対話：今年度の取組)	西棟 3階第一会議室
②	7月22日(火)	第2回 学校職場における子どもたちとの関わりについて (対話：困ったことへの解決に向けて)	西棟 3階第一会議室
③	R8・1月6日(火)	第3回 今年度の反省 (対話：課題解決に向けて)	西棟 3階第一会議室

19 うるま市特別支援学級担任合同研修会：担当 喜友名

	日時	研修内容等	場所
①	4月9日・7月29日	言語聴覚士における研修	西棟3階中会議室
②	5月16日(金)	自立活動の授業について(難聴・言語、通級言語)	沖縄ろう学校
③	7月4日(金)	自立活動の授業について(肢体)	泡瀬特別支援学校
④	調整中	美咲特別支援学校における自立活動の時間について	美咲特別支援学校
⑤	調整中	情緒学級授業研修(市内小学校の授業参観)	

20 うるま市教育支援委員会：担当 喜友名

	日時	研修内容等	場所
①	6月5日(木)	教育支援委員会 委嘱状交付及び研修会(遠藤医師)	西棟 3階第一会議室 共用会議室 中会議室
②	6月18日(水)	第1回 教育支援委員会(親子面談①)	
③	7月10日(木)	第2回 教育支援委員会(親子面談②)	
④	7月24日(木)	第3回 教育支援委員会(親子面談③)	
⑤	8月6日(水)	第4回 教育支援委員会(親子面談④)	(親子面談) ゆらてく ホール 受付 コモンズ1
⑥	8月7日(木)	第5回 教育支援委員会 難聴・言語①	
⑦	8月14日(木)	第6回 教育支援委員会 難聴・言語②	
⑧	8月20日(水)	第7回 教育支援委員会(親子面談⑤)	

⑨	8月22日(金)	第8回 教育支援委員会 難聴・言語③	西棟 3階共用会議室 中会議室 相談室	
⑩	8月28日(木)	第10回 教育支援委員会 難聴・言語④		
⑪	9月3日(水)	第11回 教育支援委員会(親子面談⑥)		
⑫	9月18日(木)	第12回 教育支援委員会(親子面談⑦)		
⑬	10月2日(木)	第13回 教育支援委員会(親子面談⑧)		
⑭	10月16日(木)	第14回 教育支援委員会(親子面談⑨)		
⑮	10月29日(水)	第15回 教育支援委員会(親子面談⑩)		
⑯	11月13日(木)	第16回 教育支援委員会(親子面談⑪)		
⑰	11月20日(木)	(予備日)教育支援委員会・答申		西棟 3階第一会議室 共用会議室 中会議室
⑱	11月27日(木)	(予備日)教育支援委員会・答申		
☆	2月10日(火)	就学相談会(4歳児対象)	西棟 3階第一会議室	

21 教育支援担当者会(特別支援教育コーディネーター):担当 喜友名

	日時	研修内容等	場所
①	4月17日(木)	新任教育支援担当者会 教育支援の手続き方法の周知(小・中担当者)	西棟 3階第一会議室
	5月9日(金)	新任教育支援担当者会 就学支援の手続き方法の周知(未就学児担当者)	東棟 大講堂
②	年2回(中頭地区)	5月14日(水) 特別支援教育コーディネーター養成研修 5月19日(月) 中・高特別支援教育コーディネーター連携協議会	県総合教育センター
③	7月23日(水)	うるま市特別支援教育コーディネーター連絡協議会	ゆらてく
	調整中	うるま市特別支援教育コーディネーター連絡協議会	県立特別支援学校予定
④	10月3日(金)	起立性調節障害についての講演会(全教職員)	ゆらてく
⑤	R8年1月8日(木)	今年度の教育支援委員会に関する課題の共有	東棟 大講堂

22 言語聴覚士による巡回指導:担当 喜友名

	日時	研修内容等	場所
①	通年	言語聴覚士による巡回指導を通して、困り感のある児童生徒の支援の仕方や環境調整の仕方を理解し、指導に活かす。	全小学校及び希望する中学校訪問

23 福祉との連携(説明会・巡回訪問・施設見学等):担当 喜友名

	日時	研修内容等	場所
①	4月17日(木)	基幹相談センター、SSEとの顔合わせ・研修	西棟 3階第一会議室
	5月30日(金)		
②	通年	教福連携プロジェクト冊子作成	東棟

24 特別支援教育アドバイザー訪問・特別支援ヒヤリング:担当 喜友名

	日時	研修内容等	場所
①	通年 1月～2月	○「特別支援教育支援員配置児童生徒」及び「教育支援委員会にて『経過観察』が望ましいとされた児童生徒」について、学習及び支援・指導状況確認、特別支援教育に関する情報交換 ○訪問支援	各小中学校 各幼児教育施設

25 保幼こ小連絡協議会:担当 喜友名・金城

	日時	研修内容等	場所
①	4月30日(水)	第1回保幼こ小連携担当者研修会(保幼こ小連携担当者)	ゆらてく
②	7月29日(火) 7月30日(水) 7月31日(木) 8月1日(金)	第2回保幼こ小連携担当者研修会 (公開保育・講話・架け橋カリキュラム作成について)	市内各小学校毎の 幼児教育施設及び 市内公共施設
③	11月19日(水)	第3回保幼こ小連携担当者研修会 (講話「仮・架け橋カリキュラム」について(校長・園長対象))	じんぶん館

26 児童会・生徒会担当者研修会:担当/辺土名

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	6月3日(火)	児童会生徒会担当者研修会①	西棟3階 第一会議室	職務	○
②	9月30日(水)	児童会生徒会担当者研修会②	西棟3階 第一会議室		
③	1月23日(金)	児童会生徒会担当者研修会③	西棟3階 第一会議室		

27 情報教育担当者研修会:担当/又吉

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	5月9日(金)	情報教育担当者研修会①	西棟3階 第一会議室	職務	○
②	11月19日(水)	情報教育担当者研修会②	西棟3階 第一会議室		
③	2月19日(木)	情報教育担当者研修会③	西棟3階 第一会議室		

28 校務支援システム研修会:担当/辺土名

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	4月24日(木)	校務支援システム概要(教務)	具志川中学校	職務	—
②	4月25日(金)	校務支援システム概要(教頭)	具志川中学校		
③	4月30日(金)	校務支援システム概要(養護教諭)	具志川中学校		
④	10月9日(木)	調査書作成等(中3学年主任、進路担当)	西棟3階 第一会議室		

⑤	2月12日(木)	指導要録等(教頭・教務)	西棟3階 第一会議室		
⑥	3月30日(月)	年度更新・新クラス設定等(教頭・教務)	オンライン		

29 キャリア教育担当者研修会：担当/辺土名

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	5月20日(火)	キャリア教育担当者研修会①	西棟3階 第一会議室	職務	○
②	9月12日(金)	キャリア教育担当者研修会②	西棟3階 第一会議室		
③	1月20日(火)	キャリア教育担当者研修会③	西棟3階 第一会議室		

30 市初任者研修：担当/又吉

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	7月30日(水)	市初任者研修(終日)	西棟3階 第一会議室	指定	○

31 市中堅教諭等資質向上研修：担当/又吉

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	8月4日(月)	社会体験研修①	各事業所	指定	○
②	8月5日(火)	社会体験研修②	各事業所		

32 市教育実践グランプリ：担当/又吉

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	2月20日(金)	市教育実践グランプリ表彰式	東棟3階 大講堂	課題	—

33 研究教員入所前研修：担当/又吉

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	6月20日(金)	研究テーマ検討①	西棟3階 共用会議室	課題	—
②	8月21日(木)	研究テーマ検討②	西棟3階 共用会議室		

34 長期研修：担当/又吉

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	10月1日(水)	研究教員入所式	西棟3階 共用会議室	課題	○
②	10月29日(水)	研究教員テーマ検討会	西棟3階 第一会議室		
③	12月17日(水)	研究教員中間報告会	西棟3階 第一会議室		
④	2月20日(金)	研究・研修報告会	西棟3階 第一会議室		

⑤	3月18日(水)	研究教員修了式	西棟3階 第一会議室		
---	----------	---------	---------------	--	--

35 臨時的任用教員研修会：担当／又吉

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	4月4日(金)	臨時的任用教員研修会	西棟3階 第一会議室	職務	—

36 文京区平和特派員との交流事業：担当／名嘉村

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	5月23日(金)	事前学習①	オンライン	その他	—
②	6月13日(金)	事前学習②	オンライン		
③	6月27日(火)	事前学習③	オンライン		
④	7月11日(金)	事前学習④	オンライン		
⑤	7月22日(火)	WEB対面・交流	オンライン		
⑥	8月6日(水)	交流事業1日目	うるま市内		
⑦	8月7日(木)	交流事業2日目			
⑧	事後	交流体験を校内での報告、うるま教育月間で報告	校内等		

37 租税教育推進事業：担当／辺土名

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	5月21日(水)	租税教育推進協議会	ゆらてく	その他	—
②	11月12日(火)	租税教育推進事業表彰式	じんぶん館		

38 プログラミングコンテスト：担当／又吉

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	調整中	第6回市プログラミングコンテスト作品募集期間	学校教育課HP	その他	—
③	12月18日(木)	第6回市プログラミングコンテスト表彰式	西棟3階 第一会議室		

39 中学生フォーラム：担当／辺土名

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	5月7日(水)	うるま市中学生フォーラム研修会	ゆらてく	職務	—
②	6月25日(木)	うるま市中学生フォーラム担当者会	西棟3階 第一会議室		
③	10月15日(水)	中学生フォーラム開催(予定)	ゆらてく		

40 学校運営協議会合同研修会：担当／甲斐

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	6月25日(水)	学校運営協議会合同研修会①	市民芸術劇場 (燈ホール)	その他	—
②	10月22日(水)	学校運営協議会合同研修会②			

令和7年度うるま市教育委員会事業計画

【4月】

日	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	県教育庁（7課+センター）
1	火	火	火
2	水	水	水
3	木	木	木
4	金	金	金
5	土	土	土
6	日	日	日
7	月	月	月
8	火	火	火
9	水	水	水
10	木	木	木
11	金	金	金
12	土	土	土
13	日	日	日
14	月	月	月
15	火	火	火
16	水	水	水
17	木	木	木
18	金	金	金
19	土	土	土
20	日	日	日
21	月	月	月
22	火	火	火
23	水	水	水
24	木	木	木
25	金	金	金
26	土	土	土
27	日	日	日
28	月	月	月
29	火	火	火
30	水	水	水

【県】：県立学校教育課事業 【義】：義務教育課事業 【保】：保健体育科事業 【生】：生涯学習振興課事業 【人】：学校人事課事業 【働】：働き方改革推進課事業
 【総】：総務課事業 【セ】：総合教育センター事業 / 研修形態→対：対面 オ：オンライン研修 デ：オンデマンド研修 / 主：研修会場→総合教育センター

令和7年度うるま市教育委員会事業計画

【5月】

日	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	県教育庁（7課+センター）
1 木	応急手当オンライン授業（中学校）③（うるま市消防）	木 初任者研修②(オ) 中学校英語STEP UP研修会①【全県】(オ)	木 中学校英語STEP UP研修会①【全県】(オ) 運動部活動指導者及び外部指導者研修会【保】(～5月末まで:テ)
2 金		金 生徒指導担当指導主事連絡協議会①(午前) 派遣指導主事等研修会①(午後)	金
3 土		土 憲法記念日	土 憲法記念日
4 日		日 みどりの日	日 みどりの日
5 月		月 こどもの日	月 こどもの日
6 火		火 振替休日	火 振替休日
7 水	中学生フォーラム 生徒会①	水 中堅教諭等資質向上研修②	水 養護教諭中堅教諭等資質向上研修②【セ】(オ) 学校栄養職員中堅教諭等資質向上研修②【セ】 栄養教諭中堅教諭等資質向上研修②【セ】
8 木	第1回 学推担当者研修会（15:15～西3階）	木 初任者研修③ 特別支援教育新任管理職研修会【県】(全地区:～22日:テ)	木 子どもの読書活動推進担当者会議①【生】 特別支援教育新任管理職研修会【県】(全地区:～22日:テ) 校長会役員と行政との連絡会①【義】
9 金	学校訪問（当初訪問：伊波小） 情報担当者研修会① 教育支援担当者会（未就学）東棟大講堂	金 教職3年目研修①	金 英語科授業づくり理論研修会（中外国語）【義】 主幹教諭研修会【義】(対:午後)
10 土		土	土
11 日		日	日
12 月	第1回 研究主任研修会（15:15～西3階）	月 市町村人事担当者会①〇	月 幼児教育研究協議会における説明会【義】(オ) 第1回沖縄県社会教育・生涯学習関係者研修会【生】
13 火	教職員評価システム校長面談（当初）① 09:00-12:00庁議 14:00-17:00教育委員会議	火 児童生徒支援加配連絡会②	火 養護教諭初任者研修④【セ】(オ) 教育情報化推進講座（中頭・中）【セ】
14 水	教職員評価システム校長面談（当初）② ※都市校長会	水 授業力アップ研①(算数)【中頭】(オ) 特別支援教育コーディネーター養成研修(中頭・那覇)【県:土】	水 学校支援訪問(兼原小) 特別支援教育コーディネーター養成研修(中頭・那覇)【県:土】
15 木	教職員評価システム校長面談（当初）③ ※都市校長会	木 授業力アップ研①(中国)【全県】(オ) 学校事務コーディネーター会議②	木 公立小学校、中学校新任特別支援学級等担当教員研修会②【県】(～29日:テ) 教育情報化推進講座（中頭・小）【セ】
16 金	学校訪問（当初訪問：与勝中） 特別支援学級担任研修会（難聴・言語、通級言語） ※都市校長会	金 新規採用・臨時任用事務職員等研修会② おきなわ県民カレッジ(第1回)ライブ配信①【生】	金 市町村幼児教育担当者連絡協議会①【義】(オ) おきなわ県民カレッジ(第1回)ライブ配信①【生】
17 土		土 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	土 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」
18 日		日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」
19 月	学校訪問（当初訪問：勝連） 教職員評価システム校長面談（予備）	月 教職5年経験者研修会	月 中学校・高等学校特別支援教育コーディネーター連携協議会【県:土】
20 火	キャリア教育担当者研修会① 教職員評価システム校長面談（当初）④	火 地区教頭研修会①	火
21 水	市定例教頭会②（9:00あまわりパーク） 租税教育推進協議会 第1回うるま市ファンリレーション研修①（15:00あまわりパーク）	水 通級指導教室担当者研修(発達・小、日本語)	水
22 木	市定例校長会② うるま市学力向上推進協議会総会	木 中堅教諭等資質向上研修③(オ) 共同学校事務室事務長会①	木 学校環境衛生・安全管理講習会【保】
23 金	学校訪問（当初訪問：津堅小中学校） 教職員評価システム校長面談（予備）	金 小学校体育主任研修会 共同学校事務室事務主査会①	金 県幼児教育アドバイザー等連絡協議会①【義】(対) 令和7年度教科用図書選定審議会②【義】 沖縄県特別支援学級設置学校校長会研修会【県】 学校栄養職員初任者研修③【セ】(オ) 栄養教諭初任者研修③【セ】(オ) 第2回人事担当者会議【人】 学校・家庭・地域の連携協力推進事業第1回推進委員会【生】
24 土		土	土
25 日		日	日
26 月		月 児童会・生徒会担当者研修会①(オ)	月 学校支援訪問(具志川中)
27 火	学校訪問（当初訪問：高江洲中）	火 小中学校生徒指導教育相談担当研修会A 【嘉手納町・沖縄市・北谷町・宜野湾市・北中城村】	火
28 水		水 小中学校生徒指導教育相談担当研修会B 【恩納村・うるま市・読谷村・中城村・西原町】 授業力アップ研①(中数)【全県】(オ)	水
29 木	学校訪問（当初訪問：川崎小）	木 初任者研修④	木 就学支援スキルアップ研修【県】(～6/13:テ) 養護教諭中堅教諭等資質向上研修③【セ】(オ) 沖縄県公民館関係者研修会【生】
30 金	学校訪問（当初訪問：天願小） SSW・校内自立支援員研修会③（15:00～）	金 通級指導教室担当者研修(言語) 9年間の学びを繋ぐ小中キャリア教育研修会①	金 教育事務所指導班長等会議②【義】
31 土		土	土

【県】:県立学校教育課事業 【義】:義務教育課事業 【保】:保健体育科事業 【生】:生涯学習振興課事業 【人】:学校人事課事業 【働】:働き方改革推進課事業
【総】:総務課事業 【セ】:総合教育センター事業 / 研修形態→対:対面 オ:オンライン研修 テ:オンデマンド研修 / 土:研修会場→総合教育センター

日	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	県教育庁（7課＋センター）
1 日			
2 月			魅力ある学校づくり研修会【義】（～8/29:デ）
3 火	学校訪問（当初訪問：あげな小） 児童会生徒会担当者会①	中学校教科研修会（音楽）	
4 水	応急手当オンライン授業（小学校）①（うるま市消防）	授業力アップ研①（小国）【中頭】（オ） 通級指導教室担当者研修（発達・中） おきなわ県民カレッジ（第2回）ライブ配信②【生】	おきなわ県民カレッジ（第2回）ライブ配信②【生】
5 木	令和7年度教育支援委員会（委嘱状交付及び研修会） 応急手当オンライン授業（小学校）②（うるま市消防）	地区校長研修会② 授業力アップ研①（中外国語）【全県】（オ）	授業力アップ研①（中外国語）【全県】（オ）
6 金	学校訪問（当初訪問：彩橋小中）	特別支援学級等担当2年目研修②（～7/11）	初任者研修担当主事会①【義】 第1回沖縄県公立学校働き方改革推進本部【働】 沖縄県社会教育指導者研修会【生】 沖縄県養護教諭研修会①【保】（オ） 学校支援訪問（石川中）
7 土			
8 日			
9 月		学推企画委員会②（午後）	
10 火	学校訪問（GIGA：宮森小・城前小）	資質・能力向上推進訪問①	日本語指導教育担当者連絡協議会①【義】（オ） 養護教諭初任者研修⑤【セ】（オ）
11 水	学校訪問（GIGA：与那城小・南原小）	地区教職員業務改善推進連絡協議会②	教育事務所等算数・数学担当指導主事連絡協議会②【義】 学校支援訪問（城前小）
12 木	学校訪問（GIGA：石川中・与勝第二中）	初任者研修⑤	小学校英語専科指導教員（FT）連絡協議会①【義】 学校栄養職員初任者研修④【セ】 学校支援訪問（赤道小）
13 金	応急手当オンライン授業（小学校）③（うるま市消防）		教育事務所等外国語教育担当指導主事連絡協議会②【義】（オ：午前） 学校栄養職員初任者研修⑤【セ】
14 土			
15 日		教員候補者選考試験第1次試験 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	教員候補者選考試験第1次試験 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」
16 月	学校訪問（GIGA：平敷屋小・具志川小）	市町村人事担当者会②	
17 火		司書教諭・学校司書等研修会（オ） 教育相談等連絡協議会②	県立高等学校入学者選抜学力検査結果分析説明会【県】（デ）
18 水	学校訪問（不登校：中原小・高江洲小） 第1回教育支援委員会（親子面談①西棟3階）	資質・能力向上推進訪問②	学校支援訪問（中原小）
19 木	市定例校長会③ 学校訪問（不登校：田場小）	初任者研修⑥	中・高特別支援教育コーディネーター連携協議会【県】
20 金	研究教員入所前研修① 【具志川中B】小中連携公開授業・講演会（具志川中）		校務の情報化講座【セ】
21 土		第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	第3土曜日「おきなわ地域教育の日」
22 日		教員候補者選考試験第1次試験（予備日）	教員候補者選考試験第1次試験（予備日）
23 月		慰霊の日	慰霊の日
24 火	【具志川東中B】小中連携公開授業・対話（具志川東中） 【与勝中B】小中連携公開授業・対話（与那城小）	小学校英語ステップアップ研修会3, 4年A 新規採用・臨時任用事務職員等研修会③ 教育支援研修会	
25 水	学校運営協議会委員合同研修会① 中学生フォーラム 生徒会①	地区教頭研修会② 中堅教諭等資質向上研修④（～7/10:デ）	校務の情報化講座【セ】 理科観察・実験指導に関する研究協議会（小）（那覇地区）
26 木	学校訪問（不登校：赤道小・兼原小）	小学校英語ステップアップ研修会3, 4年B 特別支援教育コーディネーター連絡会①	学校支援訪問（高江洲中）
27 金	SSW・校内自立支援員研修会④（15:00～）	小中連携共同研究会（算・数）【中頭】	校務の情報化講座【セ】
28 土			
29 日			
30 月			道徳教育推進連絡協議会・研究委託市町村道徳教育推進連絡協議会【義】

【県】：県立学校教育課事業 【義】：義務教育課事業 【保】：保健体育科事業 【生】：生涯学習振興課事業 【人】：学校人事課事業 【働】：働き方改革推進課事業
【総】：総務課事業 【セ】：総合教育センター事業 / 研修形態→対:対面 オ:オンライン研修 デ:オンデマンド研修 / セ:研修会場→総合教育センター

令和7年度うるま市教育委員会事業計画

【7月】

日	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	県教育庁（7課+センター）
1	火 学校訪問（不登校：あげな中・具志川東中）	火 資質・能力向上推進訪問③	火 幼稚園・認定こども園特別支援教育実践推進研修【県】（～15日） 理科観察・実験指導に関する研究協議会（小）（島尻地区）
2	水 市小中生徒指導・教育相談研修会②（ゆらてく）	水 地区教務主任研修会	水 教育事務所等算数・数学担当指導主事連絡協議会②【義】（オ） 理科観察・実験指導に関する研究協議会（小）（島尻地区）
3	木	木 授業力アップ研究会②（中外国語）【中頭・島尻】	木
4	金 学校訪問（不登校：伊波中・具志川中） 特別支援学級担任研修会（肢体不自由）	金 学校事務コーディネーター会議③ おきなわ県民カレッジ（第3回）ライブ配信③	金 おきなわ県民カレッジ（第3回）ライブ配信③ 第3回人事担当者会議【人】 理科観察・実験指導に関する研究協議会（小）（那覇地区）
5	土	土	土
6	日	日	日
7	月	月	月
8	火 市定例校長会④	火	火 地域連携担当教員等研修会【生】（オ）
9	水 市定例教頭会③	水 地域特別支援教育総合推進事業運営協議会①	水
10	木 第2回教育支援委員会（親子面談②西棟3階）	木 地区主幹教諭研修会	木
11	金	金 児童生徒支援加配連絡会③	金 沖縄県公立学校働き方改革推進本部に係る作業部会②【働】
12	土	土	土
13	日	日	日
14	月	月	月
15	火	火 教育相談等連絡協議会③	火
16	水	水	水 教育事務所等社会科担当主事連絡協議会②【義】（オ） 養護教諭5年経験研修②【セ】（オ） 沖縄県退職校長会教育長表敬訪問
17	木	木	木 市町村幼児教育アドバイザー等スキルアップ研修会①【義】（オ）
18	金 1学期終業式	金	金 特別支援教育総合推進事業運営に関する実務者会議①【県】
19	土	土 第3金曜日「少年を守る日」 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	土 第3金曜日「少年を守る日」 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」 おきなわ県民カレッジ（第4回）【生】
20	日	日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」
21	月 小学校イングリッシュキャンプ（～7/24）	月 海の日	月 海の日 ※第52回県中学校総合体育大会
22	火 第2回特別支援教育支援員（医ケア看護師）研修会	火	火 特別支援学級・通級指導教室担当者必修研修【県】（～8/1：デ） 特別支援学校教諭二種免許法認定講習【県】（～8/29：オ）
23	水 第2回学力向上支援員研修会（9:00～西3階） うるま市特別支援教育コーディネーター連絡協議会（ゆらてく）	水 中堅教諭等資質向上研修⑤【OIST施設見学】午前 第12回科学の甲子園ジュニア地区大会（OIST）午後	水 学校栄養職員初任者研修指導者連絡協議会②【セ】 学校安全指導者養成講習会（本島地区）【保】
24	木 第3回教育支援委員会（親子面談③（西棟3階） 第2回うるま市ファンリテーション研修②（14：00あまわりパーク）	木	木 中・高キャリア教育地区講座（中頭・宮古）【義】（オ：午後） 県栄養教諭・学校栄養職員等研修会【保】 養護教諭中堅教諭等資質向上研修⑥【セ】 学校栄養職員中堅教諭等資質向上研修③④【セ】 栄養教諭中堅教諭等資質向上研修④【セ】 人権教育指導者研修会【生】
25	金 第2回うるま市教職員研修（13:00～オンライン） SSW・校内自立支援員研修会⑤（10:00～）	金 中堅教諭等資質向上研修⑥（～8/13：デ） 事務主事研修会	金 沖縄県栄養教諭研修会【保】 第2回沖縄県社会教育・生涯学習関係者研修会【生】 第1回学校・家庭・地域の連携協力推進事業「ア・エ」等研修会【生】
26	土	土 管理職候補者選考試験第1次試験	土 管理職候補者選考試験第1次試験
27	日	日	日
28	月	月 教頭ヒアリング①	月 幼児期の学びを生かした授業改善研修会（生活科）【義】（オ） 養護教諭中堅教諭等資質向上研修⑦【セ】 学校栄養職員中堅教諭等資質向上研修⑤【セ】 栄養教諭初任者研修④【セ】 栄養教諭5年経験者研修①【セ】 栄養教諭中堅教諭等資質向上研修⑤【セ】 夏季ダンス実技研修会【保】
29	火 第2回保幼小連携担当者研修会（石川） （公開保育・架け橋カリキュラム作成）	火 道徳教育推進教師研修会 教頭ヒアリング②	火 「新たな教師の学びの姿」学習会【義】 養護教諭中堅教諭等資質向上研修⑧【セ】 学校栄養職員中堅教諭等資質向上研修⑥【セ】 栄養教諭初任者研修⑤【セ】 栄養教諭5年経験者研修②【セ】 栄養教諭中堅教諭等資質向上研修⑥【セ】
30	水 市初任者研修（9:00～西3階） 第2回保幼小連携担当者研修会（具志川IA） （公開保育・架け橋カリキュラム作成）	水 教頭ヒアリング③	水 養護教諭中堅教諭等資質向上研修⑨【セ】 子どもの読書活動推進担当者会議②【生】 幼稚園小学校運動実技指導者講習会【保】
31	木 第2回保幼小連携担当者研修会（具志川IB） （公開保育・架け橋カリキュラム作成）	木 初任者研修⑦（午前） 特別支援学級等担当2年目研修③（午後）	木 県スクールソーシャルワーカー合同研修会【義】 小学校体育実技指導者講習会【保】 養護教諭5年経験研修【セ】③ 家庭教育支援者研修会【生】 第4回人事担当者会議【人】

【県】：県立学校教育課事業 【義】：義務教育課事業 【保】：保健体育科事業 【生】：生涯学習振興課事業 【人】：学校人事課事業 【働】：働き方改革推進課事業
【総】：総務課事業 【セ】：総合教育センター事業 / 研修形態→対：対面 オ：オンライン研修 デ：オンデマンド研修 / 土：研修会場→総合教育センター

令和7年度うるま市教育委員会事業計画

【8月】

日	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	県教育庁（7課+センター）
1	金 第2回保幼小連携担当者研修会（与勝） （公開保育・架け橋カリキュラム作成）	金 初任者研修⑧（終日） 教頭ヒアリング④ 中学生フォーラム開催	金 沖縄県幼児教育合同研修会【義】（オ） 本庁初任者研修【義】（～8/16：デ） 養護教諭5年経歴研修④【セ】
2	土	土 管理職候補者選考試験第1次試験（予備日）	土 管理職候補者選考試験第1次試験（予備日）
3	日	日 リフレッシュ・ウィーク（～8/9）	日 リフレッシュ・ウィーク（～8/9）
4	月	月	月 教育事務所等外国語担当指導主事連絡協議会②【義】（オ：午後）
5	火	火	火 第1回学習指導要領の着実な実施に向けた連絡協議会【義】（オ）
6	水 学校閉庁日（～8/8） 第4回教育支援委員会（親子面談④ゆらてくホール） 平和特派員（文京区中学生）との交流事業①	水	水 学校閉庁日（～8/8）
7	木 第5回教育支援委員会（難聴・言語①） 平和特派員（文京区中学生）との交流事業②	木	木
8	金	金	金 第5回人事担当者会議【人】
9	土	土 教員候補者選考試験第2次試験	土 教員候補者選考試験第2次試験
10	日	日 教員候補者選考試験第2次試験	日 教員候補者選考試験第2次試験
11	月 山の日	月 山の日	月 山の日
12	火	火 県研究指定校中頭地区連絡会 教頭ヒアリング⑤	火
13	水	水 児童会・生徒会担当者研修会② 教頭ヒアリング⑥ おきなわ県民カレッジ（第5回）ライブ配信④【生】	水 県生徒指導関係事業連絡協議会【義】（オ） 教育・医療・福祉等早期支援地方協議会【県】（～27日：デ） 体力づくり・体育指導改善講習会【保】 地区別学校給食指導者研修会（中頭） おきなわ県民カレッジ（第5回）ライブ配信④【生】
14	木 第6回教育支援委員会（難聴・言語②）	木 中堅教諭等資質向上研修⑦（指導案検討会） 教頭ヒアリング⑦	木 沖縄県保幼小連携推進協議会【義】（オ） 中堅教諭等資質向上研修⑦（指導案検討会）
15	金	金 小学校・中学校生徒指導主任研修会 教頭ヒアリング⑧ 第3金曜日「少年を守る日」	金 教育事務所等外国語担当指導主事連絡協議会③【義】（オ：午前）
16	土	土 教員候補者選考試験第2次試験（予備日） 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	土 教員候補者選考試験第2次試験（予備日） 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」
17	日	日 教員候補者選考試験第2次試験（予備日） 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	日 教員候補者選考試験第2次試験（予備日） 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」
18	月	月 教頭ヒアリング⑨	月 中・高・特別支援学校生徒指導・高校入試等地区講座（中頭）【県】 キャリア教育指導者養成研修①（Nits）22日
19	火	火 教職2年目研修② 教頭ヒアリング⑩	火 令和7年度小中学校初任者研修【セ】（対） 教育事務所等学力向上担当指導主事連絡協議会①【義】（オ） 養護教諭初任者研修⑦【セ】 学校栄養職員初任者研修⑦【セ】
20	水 市定例校長会⑤（教頭オンライン視聴） 研究教員入所前研修② 第7回教育支援委員会（親子面談⑤ゆらてくホール）	水 初任者研修に係る指導教員等連絡協議会②	水 （予定）市町村教育委員会学校支援連絡協議会②【義】（オ） 養護教諭初任者研修⑦【セ】 学校栄養職員初任者研修⑦【セ】 学校栄養職員中堅教諭等資質向上研修⑧【セ】 第2回学校・家庭・地域の連携協力推進事業「テ」等研修会【生】
21	木	木	木 市町村幼児教育担当者連絡協議会②【義】（オ） 養護教諭初任者研修⑦【セ】 学校栄養職員初任者研修⑦【セ】
22	金 第8回教育支援委員会（難聴・言語③）	金 第12回科学の甲子園ジュニア沖縄県大会	金 学校運営アドバイザー連絡協議会②【義】 第12回科学の甲子園ジュニア沖縄県大会
23	土	土	土
24	日	日	日
25	月	月	月
26	火 始業式	火 市町村教育委員会特別支援教育担当指導主事連絡協議会 教育委員会ヒアリング（予備日）	火
27	水 SSW・校内自立支援員研修会⑥（15:00～）	水 教育委員会ヒアリング⑪	水
28	木 第10回教育支援委員会（難聴・言語④）	木 資質・能力向上推進訪問④（高江洲中：午前） 教育委員会ヒアリング⑫	木
29	金 【与勝第二中B】小中連携事業対話の時間（与勝第二中） 【あげな中B】小中連携事業対話の時間（あげな小）	金 教育委員会ヒアリング（予備日）	金 県幼児教育アドバイザー等連絡協議会②【義】（対）
30	土	土	土 おきなわ県民カレッジ（第6回）
31	日	日	日

【県】：県立学校教育課事業 【義】：義務教育課事業 【保】：保健体育科事業 【生】：生涯学習振興課事業 【人】：学校人事課事業 【働】：働き方改革推進課事業
【総】：総務課事業 【セ】：総合教育センター事業 / 研修形態→対：対面 オ：オンライン研修 デ：オンデマンド研修 / 土：研修会場→総合教育センター

令和7年度うるま市教育委員会事業計画

【9月】

日	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	県教育庁（7課+センター）
1	月	月	月 第40回 中頭地区「少年の主張」大会
2	火	火 特別支援学級等担当2年目研修④(～11/28)	火 教育事務所指導班長等会議③【義】
3	水 第11回教育支援委員会(親子面談⑦ゆらてくホール)	水 資質・能力向上推進訪問⑤	水 校長会役員と行政との連絡会②【義】
4	木	木 旧盆(ウンケー)	木 旧盆(ウンケー)
5	金 休業日(旧盆のため)	金	金 臨時人事担当者会議【人】
6	土	土 旧盆(ウークイ)	土 旧盆(ウークイ)
7	日	日	日
8	月	月 校長ヒアリング① 学推企画委員会③(午後)	月
9	火	火 地区発達障害研修(中) 校長ヒアリング②	火
10	水	水 資質・能力向上推進訪問⑥ 校長ヒアリング③	水 公立小学校、中学校新任特別支援学級等担当教員研修会③(中頭A)【県】【オ】 地区別学校保健教育研修会【保】 幼児教育専門研修(～12日)
11	木 市定例校長会⑥	木 校長ヒアリング④	木 授業改善推進教師(授業改善アドバイザー)研修会②【義】 教職員研修調整会議①【県】 公立小学校、中学校新任特別支援学級等担当教員研修会③(中頭B)【県】【オ】 地区別学校保健教育研修会【保】
12	金 市定例教頭会④ キャリア教育担当者研修会②	金 校長ヒアリング⑤ 学校事務コーディネーター会議④	金 地区別学校保健教育研修会【保】
13	土	土 管理職候補者選考試験第2次試験	土 管理職候補者選考試験第2次試験
14	日	日	日
15	月	月 敬老の日	月 敬老の日
16	火 SSW・校内自立支援員研修会⑦(15:00～)	火 校長ヒアリング⑥	火
17	水	水 地区校長研修会③	水
18	木 第12回教育支援委員会(親子面談⑧ゆらてくホール) 【高江洲中B】小中連携公開授業・講演会(高江洲中)	木 校長ヒアリング⑦	木 市町村幼児教育アドバイザー等スキルアップ研修会②【義】【オ】 小学校英語専科指導教員(FT)連絡協議会②【義】
19	金 【石川中B】小中連携公開授業・講演会(城前小)	金 地区発達障害研修(小) 校長ヒアリング⑧ 第3金曜日「少年を守る日」	金 沖縄県学力向上推進本部会議①【義】 第3金曜日「少年を守る日」
20	土	土 管理職候補者選考試験第2次試験(予備日) 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	土 管理職候補者選考試験第2次試験(予備日) 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」
21	日	日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」
22	月	月	月
23	火	火 秋分の日	火 秋分の日
24	水	水 小学校英語ステップアップ研修会5,6年A 共同学校事務室事務長会② 校長ヒアリング⑨	水
25	木	木 初任者研修⑨ 校長ヒアリング⑩	木
26	金 【伊波中B】小中連携公開授業・対話(伊波中)	金 小学校英語ステップアップ研修会5,6年B 園長等運営管理協議会(オ) 校長ヒアリング⑪	金
27	土 海から豚がやってきた記念日	土	土 おきなわ県民カレッジ(第7回)
28	日	日	日
29	月	月 校長ヒアリング⑫ 教育相談等連絡協議会④(SV研修①)	月
30	火 児童会生徒会担当者研修会②	火 資質・能力向上推進訪問(予備日) 校長ヒアリング(予備日)	火

【県】:県立学校教育課事業 【義】:義務教育課事業 【保】:保健体育科事業 【生】:生涯学習振興課事業 【人】:学校人事課事業 【働】:働き方改革推進課事業
【総】:総務課事業 【セ】:総合教育センター事業 / 研修形態→対:対面 オ:オンライン研修 デ:オンデマンド研修 / 土:研修会場→総合教育センター

令和7年度うるま市教育委員会事業計画

【10月】

日	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	県教育庁（7課+センター）
1	水 研究教員入所式（9：00～西3階）	水 校長ヒアリング(予備日) 教育委員会計画訪問①②(嘉手納町、北谷町)	水
2	木 第13回教育支援委員会(親子面談⑨ゆらてくホール)	木 教育委員会計画訪問③④(うるま市、沖縄市)	木
3	金 教職員評価システム校長面談（中間）①	金 生徒指導担当指導主事連絡協議会②	金 第6回人事担当者会議【人】
4	土	土	土
5	日	日	日
6	月 教職員評価システム校長面談（中間）②※	月	月
7	火 教職員評価システム校長面談（中間）②※	火	火
8	水 教職員評価システム校長面談（中間）③	水 市町村人事担当者会③○ 教育委員会計画訪問⑤⑥(北中城村、宜野湾市) 地区教職員業務改善推進連絡協議会⑤	水
9	木 校務支援研修会（進路担当） 教職員評価システム校長面談（中間）④ 市小中生徒指導主任・教育相談研修会③(ゆらてく)	木	木
10	金 SSW・校内自立支援員研修会⑤（15:00～）	金 地区校長研修会④(オ) 新規採用・臨時任用事務職員等研修会⑤	金 初任者研修担当主事会②【義】(オ)
11	土	土	土
12	日	日	日
13	月	月 スポーツの日	月 スポーツの日
14	火	火	火
15	水 第2回 学推担当者研修会（15:15～西3階）	水 おきなわ県民カレッジ(第8回)ライブ配信⑤【生】 教育委員会計画訪問⑦⑧(中城村、西原町)	水 おきなわ県民カレッジ(第8回)ライブ配信⑤【生】
16	木 第14回教育支援委員会(親子面談⑩ゆらてくホール)	木 特別支援教育コーディネーター連絡会② 教育委員会計画訪問⑨⑩(恩納村、読谷村)	木
17	金 市定例校長会⑦	金 中学校英語STEP UP研修会②【中頭】 中学校教科研修会(技術) 第3金曜日「少年を守る日」	金 沖縄県公立学校働き方改革推進本部に係る作業部会③【人】 第3金曜日「少年を守る日」
18	土	土 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	土 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」
19	日	日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」
20	月	月	月 特別支援教育管理職研修会(小中校長)【県】(～31:予)
21	火	火 地区教頭研修会③	火 教育事務所等キャリア教育担当主事連絡協議会②【義】(オ) 理科観察・実験指導に関する研究協議会(中)(島尻地区)
22	水 学校運営協議会委員合同研修会②	水	水 九州へき地小規模校教育研究大会鹿児島(～23日) 防犯教室講習会(国頭・中頭地区)【保】 理科観察・実験指導に関する研究協議会(中)(島尻地区)
23	木	木 中学校教科研修会(家庭)	木 日本語指導教育担当者連絡協議会②【義】(オ) 理科観察・実験指導に関する研究協議会(中)(那覇地区)
24	金	金 授業力アップ研②(中国)【中頭】 事務主査研修会	金 臨時人事担当者会【人】 学校栄養職員初任者研修⑩【セ】 学校栄養職員中堅教諭等資質向上研修⑨【セ】 教職員研修調整会議②【県】 理科観察・実験指導に関する研究協議会(中)(那覇地区)
25	土	土	土 教員候補者選考試験 結・UI特別選考2次試験
26	日	日	日
27	月	月	月 県立中学校入学者選抜出願期間(～10/31)
28	火	火 中学校教科研修会(美術)	火 授業におけるICT活用講座(中頭A)【セ】
29	水 第15回教育支援委員会(親子面談⑪ゆらてくホール)	水 授業力アップ研②(算数)【中頭A】	水 生涯学習・社会教育行政連絡会【生】 授業におけるICT活用講座(中頭B)【セ】 キャリア教育指導者養成研修②(Nits)～31日
30	木 研究教員テーマ検討会	木 授業力アップ研②(算数)【中頭B】	木
31	金	金 教育相談等連絡協議会⑤(SV研修②) 事務主査研修会(予備日)	金 県立中学校入学者選抜出願締切

【県】:県立学校教育課事業 【義】:義務教育課事業 【保】:保健体育科事業 【生】:生涯学習振興課事業 【人】:学校人事課事業 【働】:働き方改革推進課事業
【総】:総務課事業 【セ】:総合教育センター事業 / 研修形態→対:対面 オ:オンライン研修 デ:オンデマンド研修 / 主:研修会場→総合教育センター

令和7年度うるま市教育委員会事業計画

【11月】

日	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	県教育庁（7課＋センター）
1 土		土	おきなわ県民カレッジ(第9回)
2 日		日	
3 月		月 文化の日	月 文化の日
4 火		火	沖縄県学力向上推進フォーラム(～11/25) 県学力到達度調査(～12/5)
5 水	地震・津波防災避難訓練	水	水 合理的配慮に基づくICT教育推進研修(県)(～11/28:テ) 道徳教育推進研修(～7日)
6 木		木 授業力アップ研②(中数)【中頭】	木 子どもの読書活動推進担当者会議③【生】 沖縄県保育者育成協議会【義】 第66回沖縄県小・中学校長研究大会(那覇大会)
7 金		金 事務主任研修会	金 法定研修合同保育グループ研究会①【セ】 沖縄県保幼小架け橋期カリ開発推進会議② 第2回沖縄県公立学校働き方改革推進本部【働】 教職員研修調整会議③【県】 第66回沖縄県小・中学校長研究大会(那覇大会)
8 土		土	土
9 日		日	日 教員候補者選考試験 結・UI特別選考2次試験(予備)
10 月	SSW・校内自立支援員研修会⑨(15:00～)	月	月
11 火		火 市町村人事担当者会④	火 特別支援教育研修会【県】 養護教諭初任者研修⑩【セ】(オ)
12 水	租税教育推進事業表彰式	水 中学校教科研修会(理科) 教育相談等連絡協議会⑥(SV研修③)	水
13 木	県到達度調査(小)実施開始～12/11 第16回教育支援委員会(親子面談⑫西棟3階)	木 授業力アップ研②(小国)【中頭】	木 市町村幼児教育アドバイザー等スキルアップ研修会⑩【義】(オ) 第59回沖縄県公立小中学校教頭会研究大会(中頭) 県学力到達度調査(小～12/11)
14 金	県到達度調査(中)実施開始～12/12	金 学校事務合同会議	金 特別支援教育市町村連絡協議会②【県】 沖縄県養護教諭研修会②【保】 第7回人事担当者会議【人】 第59回沖縄県公立小中学校教頭会研究大会(中頭) 県学力到達度調査(中～12/12) ※県駅伝開会式(那覇・久米島)
15 土		土 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	土 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」
16 日		日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」
17 月		月	月
18 火		火	火 教育事務所等外国語担当指導主事連絡協議会⑩【義】(オ:午前)
19 水	情報担当者研修会② 第3回保幼小連携担当者研修会(校長・延長対象)	水 中学校教科研修会(保健体育) 中頭地区幼児教育研究協議会(対面:鳳ホール)	水
20 木	(予備日)教育支援委員会・答申(西棟3階) 市定例校長会⑧(9:00あまわりパーク)	木 初任者研修⑩	木
21 金	市定例教頭会⑤(9:00あまわりパーク) 第3回うるま市ファシリテーション研修③(15:00あまわりパーク)	金	金 沖縄県学力向上推進本部会議②【義】 法定研修合同保育グループ研究会②【セ】 養護教諭初任者研修⑩【セ】 養護教諭5年経験者研修④【セ】 養護教諭中堅教諭等資質向上研修⑧【セ】 第56回沖縄県公民館研究大会(北部大会) 第3金曜日「少年を守る日」
22 土		土	土
23 日		日 勤労感謝の日	日 勤労感謝の日
24 月		月 振替休日	月 振替休日
25 火		火 第1回教育長ヒアリング(予備日)	火 教育事務所指導班長等会議④【義】
26 水		水 第1回教育長ヒアリング① 中学校教科研修会(社会)	水 日本語指導力向上研修会【県】
27 木	(予備日)教育支援委員会・答申(西棟3階)	木 初任者研修⑩ 第1回教育長ヒアリング②	木 校長会役員と行政との連絡会③【義】 沖縄県へき地教育研究大会【義】
28 金		金 第1回教育長ヒアリング(予備日)	金 第8回人事担当者会議【人】 第3回学校・家庭・地域の連携協力推進事業「ゲイター」等研修会【生】 沖縄県情緒障害教育研究大会(てだこホール) 沖縄県へき地教育研究大会【義】 九州地区理科教育研究大会
29 土		土	土
30 日		日	日

【県】:県立学校教育課事業 【義】:義務教育課事業 【保】:保健体育科事業 【生】:生涯学習振興課事業 【人】:学校人事課事業 【働】:働き方改革推進課事業
【総】:総務課事業 【セ】:総合教育センター事業 / 研修形態→対:対面 オ:オンライン研修 デ:オンデマンド研修 / 土:研修会場→総合教育センター

令和7年度うるま市教育委員会事業計画

【12月】

日	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	県教育庁（7課+センター）
1	月	月	月
2	火	火	火
3	水	水	水 教職5年経験者研修担当連絡協議会【義】(オ) 中堅教諭等資質向上研修担当連絡協議会②【義】(オ)
4	木 SSW・校内自立支援員研修会⑩（15:00～）	木 地域特別支援教育総合推進事業運営協議会②	木 教育事務所等教育DX推進担当指導主事連絡協議会②【義】(オ)
5	金 第2回 研究主任研修会（15:15～西3階）	金 新規採用・臨時任用事務職員等研修会⑥	金 法定研修合同保育グループ研究会③【セ】 道徳教育推進連絡協議会・研究委託市町村道徳教育推進連絡協議会【義】 教職員研修調整会議④【県】
6	土	土 県立中学校入学者選抜適性検査	土 県立中学校入学者選抜適性検査 おきなわ県民カレッジ(第10回)
7	日	日	日
8	月	月	月
9	火 校長ヒアリング①	火 児童生徒支援加配連絡会④	火
10	水 校長ヒアリング②	水	水 教育事務所等算数・数学担当指導主事連絡協議会③【義】
11	木 校長ヒアリング③ 県到達度調査（小）の入力バッチ	木	木 教育事務所等国語担当指導主事連絡協議会③【義】(オ) 第41回沖縄県難聴・言語障害教育研究会研究発表会
12	金 校長ヒアリング④ 日本語教育支援員研修会② 県到達度調査（中）の入力バッチ 市小中生徒指導主任・教育相談研修会④（ゆらてく）	金 事務長及び事務主幹研修会 共同学校事務室事務主査会②	金 法定研修合同保育グループ研究会④【セ】 沖縄県特別支援教育研究大会(美咲特支) 教職員研修調整会議(予備日)【県】
13	土	土	土
14	日	日	日
15	月	月 共同学校事務室実践報告会	月
16	火 市定例校長会⑨	火 教育相談員等連絡協議会⑦ スクールカウンセラー連絡協議会②	火
17	水 研究教員中間報告会	水 初任者研修に係る指導教員等連絡協議会③	水 沖縄県社会教育主事専門講座②【生】(オ)
18	木 プログラミングコンテスト表彰式	木	木 第2回学習指導要領の着実な実施に向けた連絡協議会【義】(オ)
19	金	金 おきなわ県民カレッジ(第11回)ライブ配信⑥【生】 第3金曜日「少年を守る日」	金 沖縄県保幼こ小架け橋期のカリキュラム検討会議③【義】(オ) おきなわ県民カレッジ(第11回)ライブ配信⑥【生】 第3金曜日「少年を守る日」
20	土	土 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」 県立中学校入学者選抜適性検査(追検査)	土 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」 県立中学校入学者選抜適性検査(追検査)
21	日	日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」
22	月	月	月
23	火	火	火 おきなわ県民カレッジ生涯学習コーディネーター研修会【生】
24	水 第2回 学力向上支援員研修会（9:00～西3階）	水	水
25	木 2学期終業式	木	木
26	金	金	金
27	土	土	土
28	日	日	日
29	月	月 年末年始休(～1月3日)	月 年末年始休(～1月3日)
30	火	火	火
31	水	水	水

【県】:県立学校教育課事業 【義】:義務教育課事業 【保】:保健体育科事業 【生】:生涯学習振興課事業 【人】:学校人事課事業 【働】:働き方改革推進課事業
【総】:総務課事業 【セ】:総合教育センター事業 / 研修形態→対:対面 オ:オンライン研修 デ:オンデマンド研修 / 主:研修会場→総合教育センター

日	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	県教育庁（7課+センター）
1	木	木 元日	木 元日
2	金	金	金
3	土	土	土
4	日	日	日
5	月	月 仕事始め	月
6	火 始業式 第3回特別支援教育支援員（医ケア看護師）研修会	火	火 第9回人事担当者会議【人】
7	水	水	水 県立中学校入学者選抜結果通知期限
8	木 教育支援委員会担当者会（未就学・小中学校） SSW・校内自立支援員研修会①（15:00～）	木	木 県立高校併設型入学希望届提出期限 教育事務所等キャリア教育担当主事連絡協議会③【義】（オ）
9	金	金	金 県立高校併設型入学結果通知期限 教育事務所等幼児教育担当者連絡協議会②【義】（オ）
10	土	土	土
11	日	日	日
12	月	月 成人の日	月 成人の日
13	火	火	火
14	水	水 ○定例教育長会⑥※	水 教育事務所生徒指導担当指導主事会②【義】 学校安全担当指導主事等連絡協議会②【保】（午前） 特別支援教育総合推進事業運営に関する実務者会議②【保】
15	木 市定例校長会⑩	木	木 教育事務所等国語担当指導主事連絡協議会④【義】 英語科授業づくり学習会（中外国語）【義】（オ） 初任者研修担当主事会③【義】（オ） 生涯学習・社会教育行政連絡会【生】
16	金	金 沖縄県指導主事等連絡協議会②【県全】 第3金曜日「少年を守る日」	金 沖縄県指導主事等連絡協議会②【県全】 第10回人事担当者会議【人】 第3金曜日「少年を守る日」
17	土	土 大学入学共通テスト① 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	土 大学入学共通テスト① 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」
18	日	日 大学入学共通テスト② 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	日 大学入学共通テスト② 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」
19	月 教職員評価システム校長面談（最終）①	月	月
20	火 市定例教頭会⑥ キャリア教育担当者研修会③ 教職員評価システム校長面談（最終）②	火	火 県外からの高校入学志願のための許可願提出期限 県立高校特色選抜・一般選抜Web出願（～1/30）
21	水 教職員評価システム校長面談（最終）③	水	水 教育事務所等学力向上担当指導主事連絡協議会②【義】（オ） 沖縄県公立学校働き方改革推進本部に係る作業部会④【人】
22	木 教職員評価システム校長面談（最終）④	木 9年間の学びを繋ぐ小中キャリア教育研修会②（オ） 教育相談等連絡協議会⑤	木
23	金 教職員評価システム校長面談（最終）⑤ 児童会生徒会担当者研修会③	金	金 県立中学校入学確約書提出期限 市町村教育委員会学校支援連絡協議会③【義】（オ） 第67回沖縄県社会教育研究大会（中頭）【生】 第47回沖縄県PTA研究大会（八重山大会）
24	土	土	土
25	日	日	日
26	月	月 授業改善推進教師研修会②	月 学校栄養職員初任者研修【セ】 学校栄養職員初任者研修校長等連絡協議会②【セ】
27	火	火 地区校長研修会⑤	火
28	水	水 小学校英語専科PT及び指導主事補連絡協議会②	水 教育事務所等社会科担当主事連絡協議会③【義】（オ）
29	木	木	木 市町村幼児教育担当者連絡協議会③【義】（オ） 日本語指導教育担当者連絡協議会③【義】（オ）
30	金 うるまのみらい2.0（午後）	金	金 教育事務所等外国語担当指導主事連絡協議会⑤【義】 栄養教諭初任者研修⑦【セ】（オ） 栄養教諭初任者研修校長等連絡協議会②【セ】（オ）
31	土	土	土

【県】：県立学校教育課事業 【義】：義務教育課事業 【保】：保健体育科事業 【生】：生涯学習振興課事業 【人】：学校人事課事業 【働】：働き方改革推進課事業
【総】：総務課事業 【セ】：総合教育センター事業 / 研修形態→対：対面 オ：オンライン研修 デ：オンデマンド研修 / セ：研修会場→総合教育センター

令和7年度うるま市教育委員会事業計画

【2月】

日	うるま市教育委員会	日	中頭教育事務所	日	県教育庁（7課+センター）
1					
2	月 SSW・校内自立支援員研修会⑫（15:00～）	月		月	県立高校願書受付① 県立特支高等部・高支一般入学願書受付①
3	火	火		火	県立高校願書受付② 県立特支高等部・高支一般入学願書受付② 初回志願状況発表
4	水 市定例校長会⑪ 第3回 学推担当者研修会（15:15～西3階）	水		水	教育事務所等算数・数学担当指導主事連絡協議会④【義】（オ）
5	木 市小中生徒指導・教育相談研修会⑤（ゆらてく）	木		木	授業改善推進教師（授業改善アドバイザー）研修会③【義】 小学校英語専科指導教員（FT）連絡協議会③【義】（オ）
6	金	金		金	県立高校志願変更申し出① 県立特支高等部・高支志願変更申し出① 第3回沖縄県公立学校働き方改革推進本部【働】
7	土	土		土	
8	日	日		日	
9	月	月	県立高校志願変更申し出② 県立特支高等部・高支志願変更申し出②	月	県立高校志願変更申し出② 県立特支高等部・高支志願変更申し出②
10	火 就学相談会（4歳児対象）西棟3階	火	児童生徒支援加配連絡会⑤	火	学校・家庭・地域の連携協力推進事業第2回推進委員会【生】 養護教諭初任者研修①【セ】 養護教諭初任者研修校長・指導者等連絡協議会②【セ】（オ） 栄養教諭中堅教諭等資質向上研修⑨【セ】
11	水	水	建国記念の日	水	建国記念の日
12	木 校務支援研修会（教頭）	木	教職3年目研修②	木	県幼児教育アドバイザー等連絡協議会③【義】（対）
13	金 市定例校長会⑫（臨時）	金		金	県立高校連携型選抜結果通知期限 学校運営アドバイザー連絡協議会③【義】 市町村人事担当者会⑤ 第11回人事担当者会議【人】
14	土	土		土	
15	日	日	第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	日	第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」
16	月 第3回 研究主任研修会（15:15～西3階）	月		月	県立高校願書取り下げ・再出願① 県立特支高等部・高支願書取り下げ・再出願①
17	火	火		火	県立高校願書取り下げ・再出願② 県立特支高等部・高支願書取り下げ・再出願② 最終志願状況発表
18	水	水	教職2年目研修③ 第2回教育長ヒアリング①	水	
19	木 情報担当者研修会③	木	中堅教諭等資質向上研修⑧（閉講式） 第2回教育長ヒアリング②	木	
20	金 教育実践グランプリ表彰式（案）（15:00～東大講堂） 市長期研修報告会（案）（15:40～東大講堂）	金	第2回教育長ヒアリング（予備日） 学校事務コーディネーター会議⑤ 第3金曜日「少年を守る日」	金	県立高校連携型入学確約書提出期限
21	土	土	第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	土	第3土曜日「おきなわ地域教育の日」
22	日	日		日	
23	月	月	天皇誕生日	月	天皇誕生日
24	火	火	教育相談等連絡協議会⑨	火	
25	水	水	地区校長研修会⑥	水	沖縄県社会教育主事専門講座③【生】（オ）
26	木	木	初任者研修⑫	木	
27	金	金	生徒指導担当指導主事連絡協議会③（午前） 派遣指導主事等研修会②（午後）	金	
28	土	土		土	

【県】：県立学校教育課事業【義】：義務教育課事業【保】：保健体育科事業【生】：生涯学習振興課事業【人】：学校人事課事業【働】：働き方改革推進課事業
【総】：総務課事業【セ】：総合教育センター事業 / 研修形態→対：対面 オ：オンライン研修 デ：オンデマンド研修 / 主：研修会場→総合教育センター

日	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	県教育庁（7課+センター）
1 日			日 県立高校卒業式
2 月	SSW・校内自立支援員研修会⑬（15:00～）		月
3 火		火 学推企画委員会④（午前）	火
4 水		水	水 県立高校入学者選抜学力検査1日目 県立特支高等部・高支入学者選抜検査1日目
5 木		木	木 県立高校入学者選抜学力検査2日目 県立高校入学者選抜特別募集検査 県立特支高等部・高支入学者選抜検査2日目
6 金		金	金 教育事務所指導班長等会議⑤【義】 第12回人事担当者会議【人】
7 土	卒業式（中）	土	土
8 日		日	日
9 月		月	月 県立学校入学者選抜学力検査追検査 県立特支高等部・高支入学者選抜追検査
10 火		火 初任者研修に係る次年度説明会	火
11 水	市定例校長会⑬	水 教育相談等連絡協議会⑩	水
12 木	市定例教頭会⑦	木	木
13 金		金	金
14 土		土	土
15 日		日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」
16 月		月	月
17 火		火	火 県立高校合格発表 県立特支高等部・高支合格発表
18 水	卒業式（小） 長期研修修了式（案）（午後）	水	水 県立学校2次募集願書受付①
19 木	修了式	木	木 県立学校2次募集願書受付② 2次募集初回志願状況発表
20 金		金 春分の日 第3金曜日「少年を守る日」	金 春分の日 第3金曜日「少年を守る日」
21 土		土 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	土 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」
22 日		日	日
23 月		月	月 県立学校2次募集志願変更再出願 2次募集最終志願状況発表
24 火		火	火 県立学校2次募集書類交換
25 水		水 共同学校事務室事務長会③ 共同学校事務室事務主査会③ 学校事務職員研修会	水
26 木		木	木
27 金		金	金 県立学校第2次募集合格発表
28 土		土	土
29 日		日	日
30 月	校務支援研修会（教頭）	月	月
31 火		火 退職者辞令交付式	火

【県】：県立学校教育課事業 【義】：義務教育課事業 【保】：保健体育科事業 【生】：生涯学習振興課事業 【人】：学校人事課事業 【働】：働き方改革推進課事業
【総】：総務課事業 【セ】：総合教育センター事業 / 研修形態→対：対面 オ：オンライン研修 デ：オンデマンド研修 / 主：研修会場→総合教育センター

20 就学援助事業

目標

生まれ育った環境によって左右されることのないよう、必要な教育を受ける機会の均等を図る取組として、就学援助制度等の拡充に努めます。

1. 就学援助制度

本市では、経済的な理由によって、就学が困難と認められる児童生徒の保護者に、学用品費等の就学上必要な経費の一部を援助する就学援助制度を実施しています。

(1) 援助の対象

次のいずれかに該当する保護者のうち、経済的に困窮しているもの。

- ①うるま市内に住所を有し、市立小中学校に就学する児童生徒又は小学校就学予定者の保護者。
- ②うるま市外に住所を有し、区域外就学を認めた市立小中学校に就学する児童生徒の保護者。
- ③うるま市内に住所を有し、区域外就学を認められた他の地方公共団体又は国立大学法人が設置する小学校又は中学校に就学する児童生徒の保護者。

(2) 援助の内容 ※要保護、区域外就学、県立中学校の児童生徒は支給費目が限られます。

- ① 学用品費
- ② 通学用品費（小・中 1年生除く）
- ③ 校外活動費
- ④ 新入学用品準備金または新入学児童生徒学用品費（いずれか1回）
- ⑤ 修学旅行費
- ⑥ 学校給食費

2. 特別支援教育就学奨励費

(1) 援助の対象

うるま市立小中学校の特別支援学級の児童生徒の保護者又は通常学級に就学する学校教育法施行令第22条の3に該当する児童生徒の保護者。

(2) 援助の内容

市立小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者等に対し、学用品費等の一部を援助。就学援助費目①～⑥について実費のおよそ1/2の額（上限あり）。

3. 関係部署との連携

子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることなく、全ての子どもたちが夢と希望をもって成長していけるよう、各分野で取り組んでいる生活支援や学習支援、家庭支援員による相談業務等を通し、関係部署と連携することにより、就学援助制度の効果的な周知及び利用しやすい環境の整備に努める。

第2節 うるま市教育支援センター

1 うるま市教育支援センターの概要

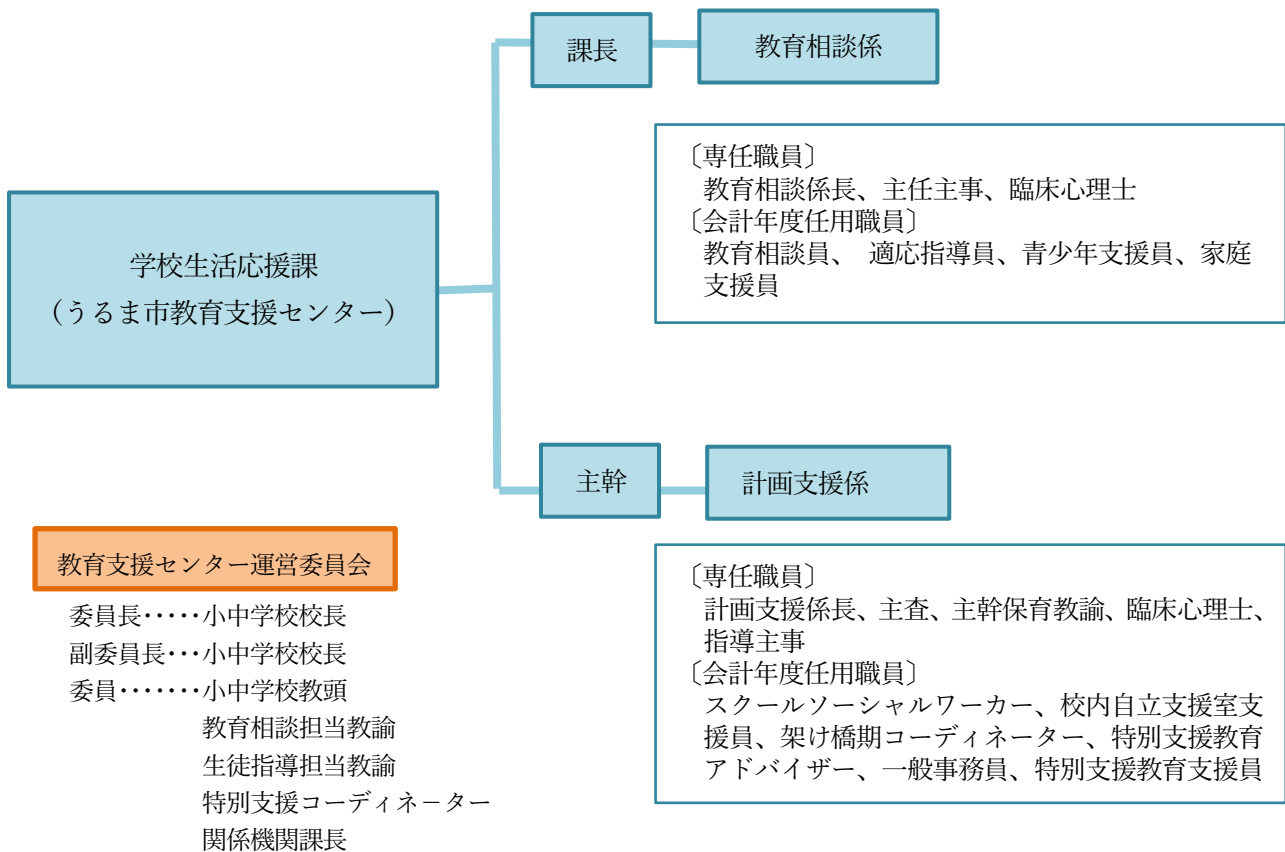
1. 目的

21世紀をたくましく生きる子どもの育成を図るため、不登校児童生徒の集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の定着、基本的な生活習慣の改善等のための相談・適応指導（学習指導を含む。）を行うことにより、その学校復帰を支援し、不登校児童生徒の社会的自立に資することを基本とする。

2. 運営方針

- ①市内の児童生徒及び保護者等の教育上の問題や悩みについて相談に応じ支援する。
- ②適応指導教室、各地区相談室、若者居場所事業の運営の充実に努める。
- ③各教育団体・機関との連携を図る。

3. 運営組織、職員



※任期1年

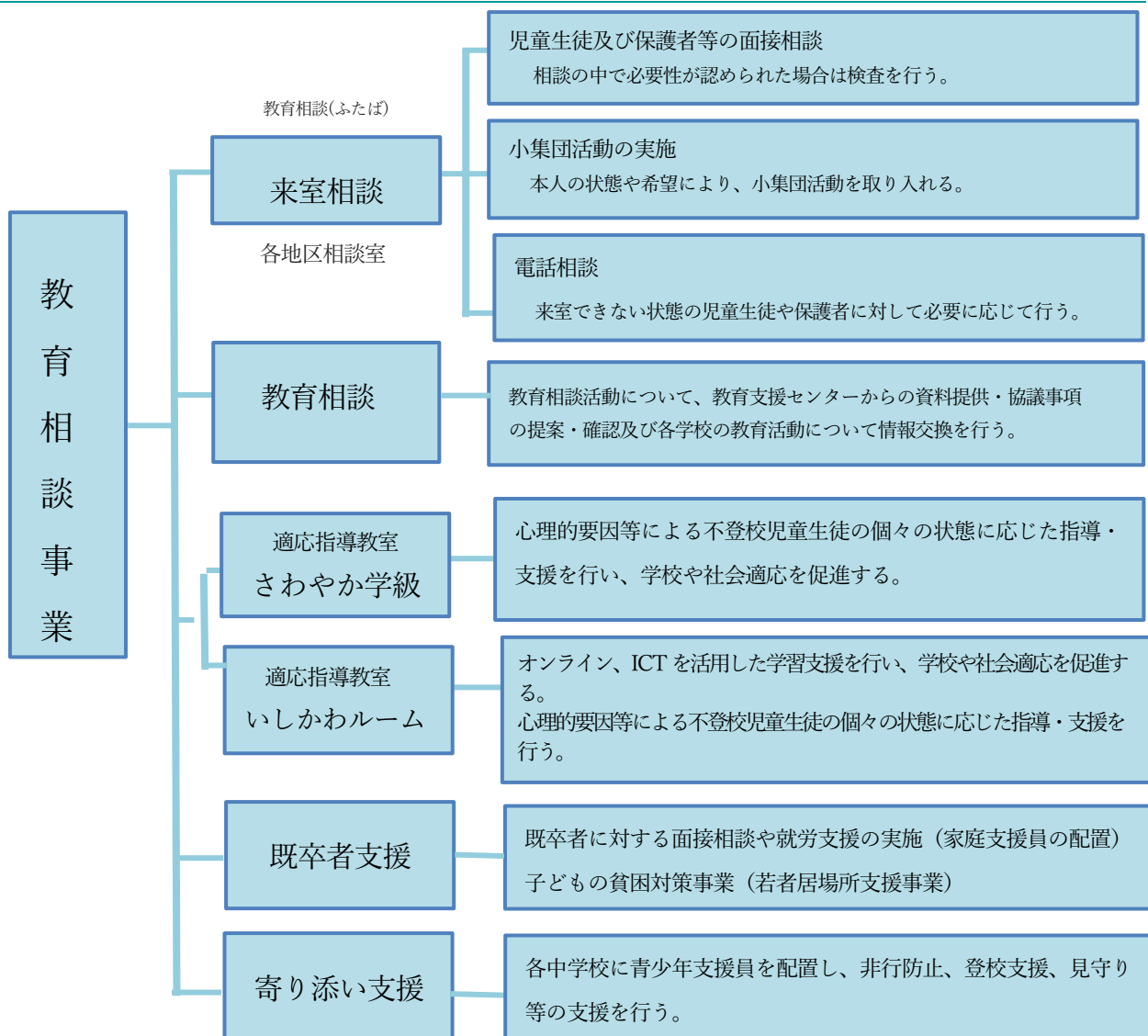
2 事業計画

1. 事業内容

	事業名	内容及び方法等
教育相談係	(1) 教育相談(ふたば)	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒及び保護者等への相談支援 ・来所相談 ・小集団活動 ※来所している利用者を中心に小集団活動を実施。
	(2) 教育相談担当者会	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の理解について、教育相談担当者の資質向上を図るための研修を行う。 ・教育相談活動について、教育支援センターからの資料提供・協議事項の提案・確認及び各学校の教育相談活動について情報交換を行う。
	(3) 適応指導教室 【さわやか学級】 【いしかわルーム】	<ul style="list-style-type: none"> ・心理的要因等による不登校の児童生徒への適応指導（主に通級による適応指導、個に応じた体験活動の重視） ・オンライン、ICT を活用した学習支援を行い、学校や社会適応を促進する。
	(4) 既卒者支援	<ul style="list-style-type: none"> ・既卒者に対する面接相談や就労支援の実施（家庭支援員の配置） ・子どもの貧困対策事業（若者居場所支援事業）
	(5) 寄り添い支援	<ul style="list-style-type: none"> ・各中学校に青少年支援員を配置し、非行防止や登校支援、見守り等の支援を行う。
計画支援係	(1) いじめ・不登校対策	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・不登校の実態把握、スクリーニングシート活用による早期対応、不登校予防施策の立案 ・校内自立支援室支援員、スクールソーシャルワーカーの配置 ・子育て包括支援課等との連携
	(2) 教育相談	<ul style="list-style-type: none"> ・学校等への支援者支援 ・重大・緊急事案への対応
	(3) 特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育支援員及び特別支援教育アドバイザーの配置 ・不登校の実態把握、不登校予防施策等の立案 ・言語聴覚士巡回相談
	(4) 教育支援委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・就学予定者及び就学児童生徒のうち、障がい等により教育上特別な支援を必要とする者の適切な就学を審議する
	(5) 保幼小連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保幼小連携、架け橋プログラム促進事業の実施 ・こども未来部との連携



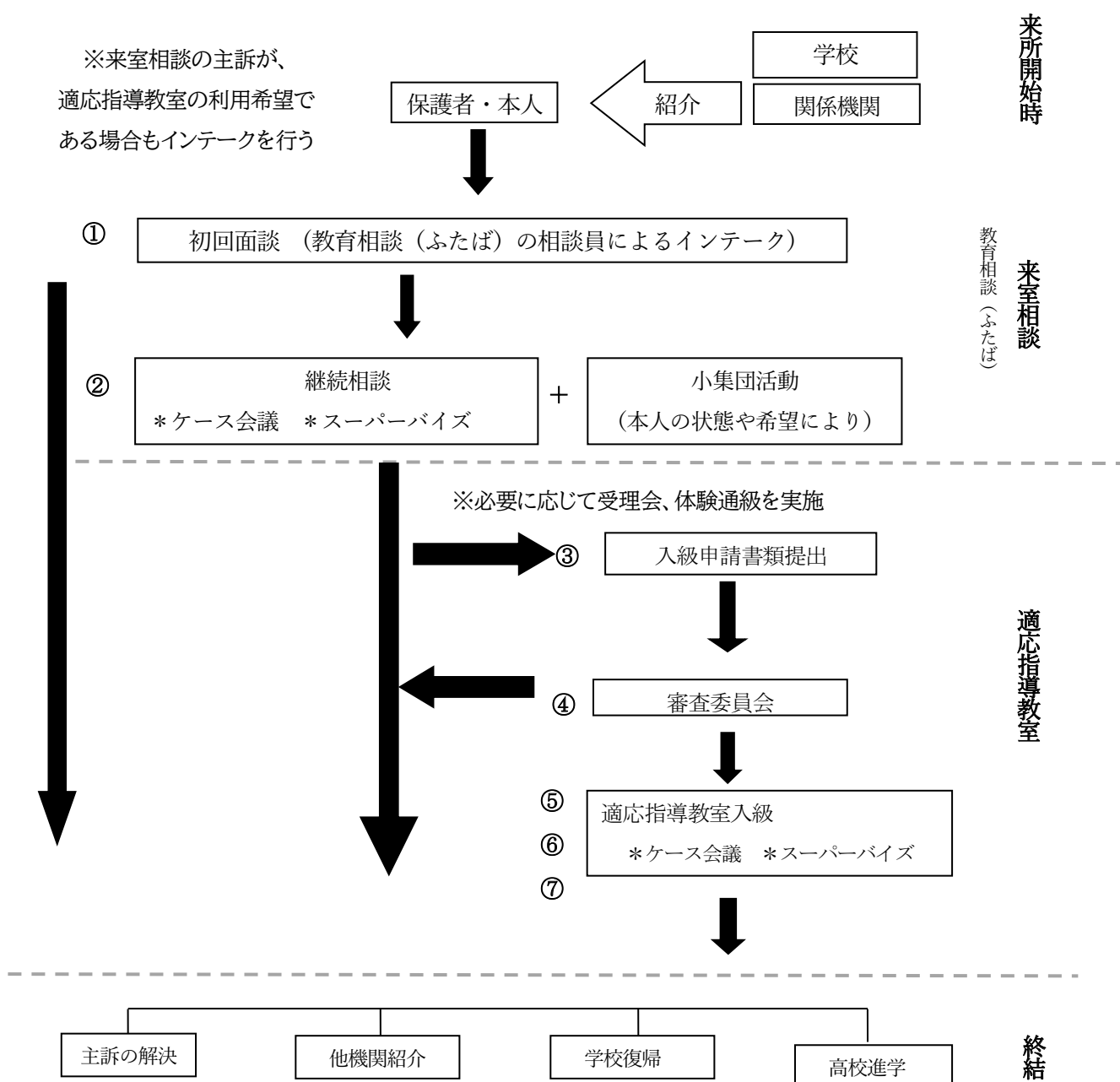
3 教育相談事業の概要



相談対象	相談内容	相談方法
うるま市在住の児童生徒・保護者等	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、対人関係、生活行動面に関すること ・登校しぶり、不登校、友人とのトラブル ・反抗的な態度、多動、ぼんやり等 	来室相談※1 毎週月曜日～金曜日（祝祭日除く） 時間 9：00～17：00 場所 各地区教育相談室
※1 来室が困難なケースについては、電話相談を行う。		

相談室	場所
具志川・与勝地区相談室	いちゅい具志川じんぶん館2階 ☎ 098-989-9127 〒904-2203 うるま市字川崎468番地 教育支援センター
石川地区相談室	宮森小学校敷地内 ☎ 098-964-2870 〒904-1106 うるま市石川一丁目46番1号 教育支援センター

4 教育相談（ふたば）から適応指導教室への入級・終結までの流れ



1) 石川地区、具志川・与勝地区でそれぞれ来室相談を行っている。

◆ 相談対象 ◆ うるま市に在住する児童生徒及び保護者

① 初回面談（インテーク）で本人の状態とニーズを確認し支援方針を共有する。
適応指導教室への入級希望であっても、教育相談（ふたば）を経て入級を検討する。学校や他機関からの紹介があっても、すぐに適応指導教室に入級するのではなく、児童生徒が学校復帰する可能性を大切にしている。

- ② 継続的な入級前の来室相談（本人・保護者）を実施する。相談員と場所に慣れてきたら小集団活動へ参加を促す。教育相談（ふたば）で終結に繋がらない場合、適応指導教室への入級を検討する。本人・保護者の入級への要望があることを踏まえつつ、以下のことを確認する。
- ・ 本人の状態の把握 ・ 本人の自己理解 ・ 本人に合った教育環境を話し合う
 - ・ 学校との連携（部分登校、行事参加など） ・ 適応指導教室に対する理解
 - ・ 入級に向けての意思（意欲）及び基本的な生活行動（リズム）の改善
 - ・ 保護者としての支援に関する理解・心づもり・準備（送迎、面談、その他）
- * 現在の入級に至るまでのプロセスについては、入級後の通級がよりスムーズにでき、入級児の成長・発達・変容がより高められる準備期となるものとする。
- ・ 本人、保護者、原籍校長ともに、適応指導教室への入級希望である。
 - ・ 適応指導教室での支援が有効と考えられる児童生徒
- ③ 本人、保護者、原籍校長ともに適応指導教室への入級の希望と確認出来たら、指定の様式「適応指導教室入級申請書」「児童生徒の概要」「適応指導教室入級願い(保護者記入)」(ホームページを参考)を添えて学校から入級申請を行う。
- ・ 教育相談（ふたば）より、入級にあたっての本人の支援計画や配慮点について事前に情報提供を行う
 - ・ 受理会を必要に応じて行う。
 - ・ 適応指導教室の職員及び教室に慣れる期間として体験通級を必要に応じて行う。
- ④ 審査委員会
- 適応指導教室において本人への支援を効果的に行うために、上記の手続きを経た上で、入級審査委員会にて入級の可否の判定を行う。
- 入級決定後、「入級承諾通知書」を原籍校長に通知する。原籍校長から本人・保護者に入級決定の旨を伝える。在籍校においても、引き続き、本人支援や、保護者支援を継続していくことを本人・保護者に伝え、適応指導教室の利用が開始となる。
- ⑤ 段階的指導計画に沿って活動する。
 - ⑥ 個に応じた段階的登校支援を試みる。
 - ⑦ 可能なかぎり学校復帰を試みる。

<入級の期間>

- ・ 入級の期間は学校復帰までとするが、年度3月で退級とする。
- ・ 継続して適応指導教室の支援が必要と認められる児童生徒も、新年度に再度入級の手続きをとる。

★4月、5月は学校対応を主とし、新しい原籍校担任と本人・保護者とのレポートづくりの期間とする。
必要に応じて、適応指導教室職員が支援する。

5 適応指導教室

1. 設置

心理的要因等により登校困難な状態にある児童生徒に対して、集団生活への適応を促し、在籍校への復帰又は将来的な社会的自立を支援するため、適応指導教室を設置する。

2. 名称及び場所

名 称	場 所
さわやか学級	うるま市字川崎468番地 2階
いしかわルーム	うるま市石川一丁目46番1号

3. 組織

うるま市教育支援センター（以下「教育支援センター」という）が主管となって本事業を推進する。

① 適応指導教室「審査委員会」

適切な教室利用を図るため、下記の構成で入級・退級の判定を行う。

※児童生徒の状態によっては入級に関して一旦保留の場合もある。

【審査委員会】

教育支援センター	課長、主幹、教育相談係長、臨床心理士
適 応 指 導 教 室	担任、指導員

② 適応指導教室「協力委員会」

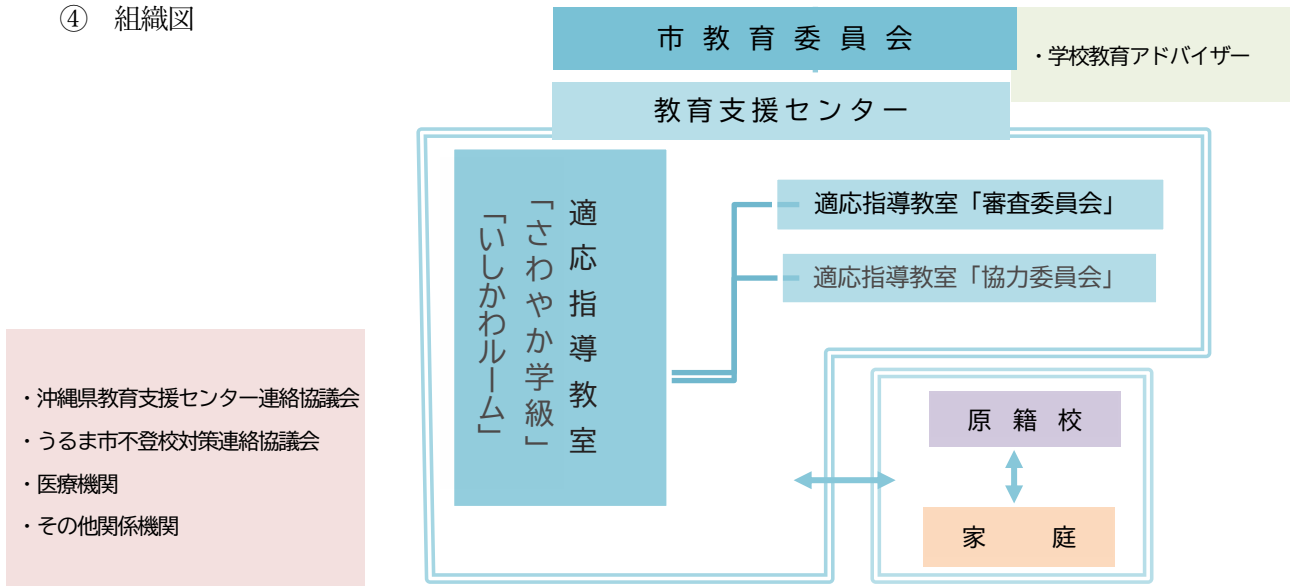
個々の子どもの状態理解および配慮・留意事項を把握・整理した上で、各児童生徒の在籍する学校との具体的な連携について協議する。

【協力委員会】

学 識 経 験 者	学校教育アドバイザー
教育行政関係職員	学校教育部長、学校教育課主幹
学 校 関 係 者	児童生徒の原籍校より校長、担任、教育相談担当教諭・養護教諭等
学校生活応援課 (教育支援センター)	課長、主幹、教育相談係長、臨床心理士、指導主事、適応指導教室担任・指導員

③ 学校教育アドバイザーを配置し必要に応じ助言を行う。

④ 組織図



4. 入級対象児童生徒

うるま市に住所を有し、かつ、小中学校に在籍し、心理的要因等によって登校できない児童生徒で、次の各号のいずれにも該当するものとする。

- (1) うるま市教育支援センターにおいて適応指導教室における指導及び助言が効果的と判断され、かつ通級が可能であるもの
- (2) 不登校児童生徒及び当該不登校児童生徒の保護者が適応指導教室に入級することを希望するもの
- (3) 適応指導教室に入級を希望する児童生徒の在籍する校長が適応指導教室に入級することを認めたもの

5. (入級・退級の決定)

適応指導教室の入級・退級の可否は、教育委員会が決定し、対象児童生徒の在籍する校長へ通知する。



6. 適応指導教室の運営・活動

① 開設期間及び日時

5月～翌年3月中旬

月曜日から金曜日（休業日は公立学校に準ずる。）

8：30～12：00（児童生徒の状況に応じて午後の対応も考慮する。）

② 経営方針

- (1) 安心して過ごせるような教室配置にして、居場所を確保する。
- (2) 児童生徒一人ひとりの気持ちを受容し、情緒の安定を図り、より良い人間関係が築けるよう支援していく。
- (3) 学級の経営や児童生徒の支援方法については、ケース会議及びスーパーバイズを受け、他機関とも連携を図り、指導支援の効果を高めるようにする。
- (4) 児童生徒個々の支援のあり方については、適応指導教室担任・保護者・原籍校関係者が、常に話し合いを持ち、共通理解を図る。

③ 指導・支援の内容

ア、教育相談 イ、体験活動 ウ、学習活動 エ、基本的生活習慣の4本の柱で実施します

めざす子ども像

- 自分の気持ちを表現することができる
- 相手を思いやることができる
- 考えて行動することができる



第3節 学校給食

1 学校給食センターの概要

1. なぜ学校給食があるのでしょうか

小学校へ入学すると、みんな揃って食べる楽しい給食が始まります。学校給食は、お昼の食事を先生や友達と一緒に食べるというふれあいの中で、児童生徒の健康を保持増進し、体力を向上させると共に、豊かな心を育み、心身の健全な発達を促進するための大切な「食育の場」です。

2. 学校給食の7つの目標（学校給食法第2条）

- ① 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。
- ② 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。
- ③ 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。
- ④ 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- ⑤ 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。
- ⑥ 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。
- ⑦ 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。

3. 学校給食センター施設

本市における学校給食センターは、共同調理場方式4施設と津堅学校調理場をもって構成され、その総括、管理を第一調理場に置き、うるま市内の小学校18校の児童へ8,702食、中学校10校の生徒へ3,962食、認定こども園2園の園児へ151食、合計12,815食を学校給食として提供しています。

本市教育委員会では、令和5年度教育主要施策において、学校教育の中で「健やかな心と体を育む教育の充実」を掲げ、学校給食を通して児童生徒への食に関する指導を充実するとともに、食の安全・安心・信頼性の確保に努めるとしています。

そのため、本市学校給食センターでは、特色ある学校給食を目指し、児童生徒の望ましい食習慣の形成に向け、学校と連携しながら食育授業を展開しています。

また、安全・安心で栄養バランスの摂れた給食を提供するとともに、沖縄の年中行事食を取り入れた献立、地元食材を活用した地産地消の充実を図り、食育の普及・啓発を推進しています。

さらに、学校給食センターの安定的な運営を行うため、津堅学校調理場を除く4つの共同調理場において調理等業務を委託しており、与勝調理場においては、令和5年6月よりアレルギー対応除去食の給食提供を開始しております。

今後、老朽化を主な課題とする石川学校給食センターと第二調理場は統合し、アレルギー対応除去食の提供を可能とする、新調理場の整備に取り組んでおります。また、第一調理場につきましては、アレルギー対応除去食の給食提供に向け、アレルギー室の改修整備に取り組んでおります。



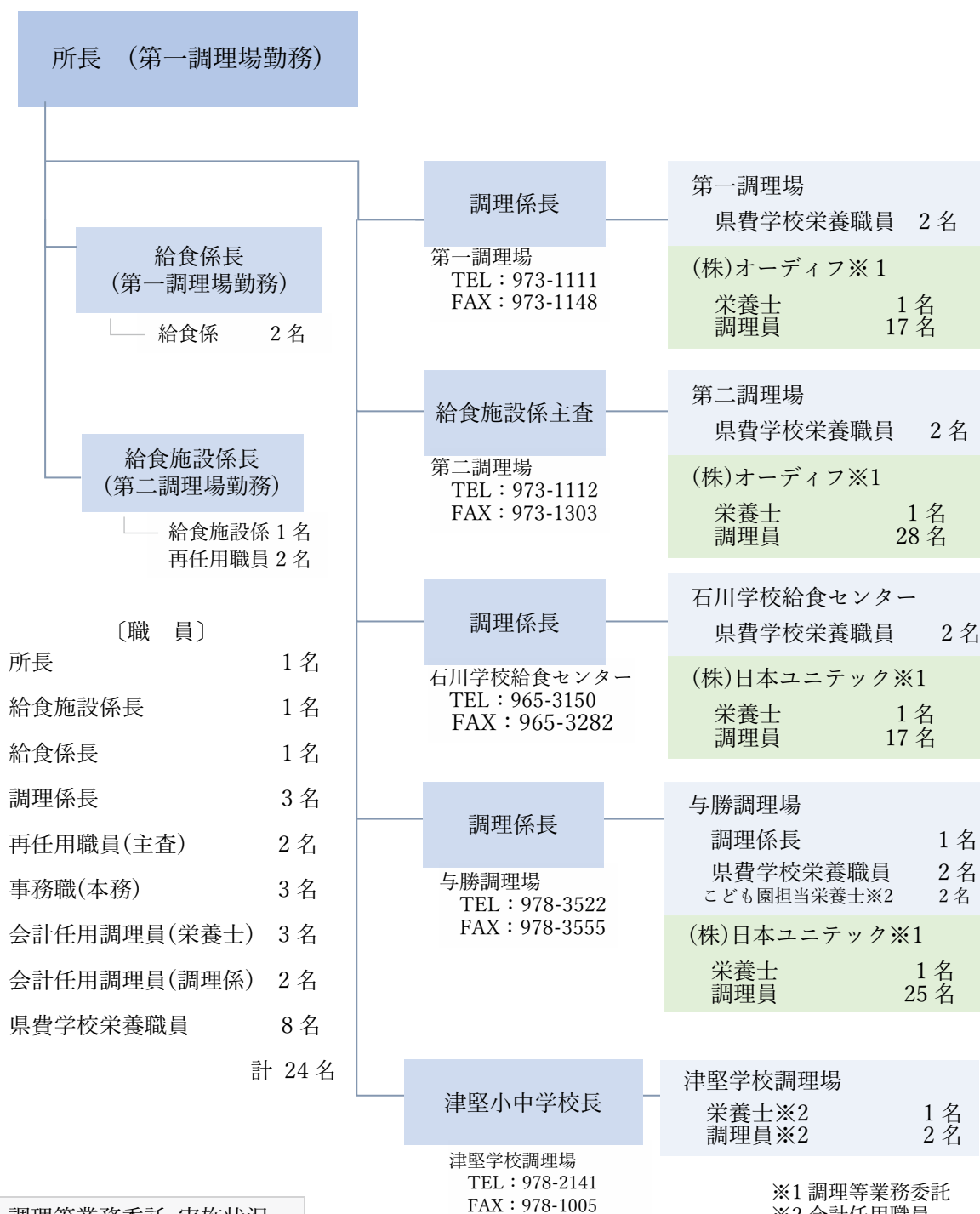
2 給食センター別 学校給食児童生徒・職員一覧表

令和7年5月1日現在

調理場	学校	児童生徒	職員	計
第一調理場	あげな中学校	782	53	835
	具志川中学校	705	49	754
	高江洲中学校	532	41	573
	具志川東中学校	490	38	528
	給食センター	—	25	25
	第一調理場 計	2,509	206	2,715
第二調理場	川崎小学校	387	31	418
	天願小学校	784	48	832
	あげな小学校	513	38	551
	田場小学校	888	55	943
	具志川小学校	290	26	316
	兼原小学校	664	42	706
	中原小学校	846	49	895
	赤道小学校	625	44	669
	給食センター	—	35	35
	第二調理場 計	4,997	368	5,365
石川学校給食センター	石川中学校	403	30	433
	伊波中学校	356	35	391
	中学校 小計	759	65	824
	宮森小学校	420	29	449
	城前小学校	382	30	412
	伊波小学校	782	52	834
	給食センター	—	21	21
	小学校 小計	1,584	132	1,716
	石川学校給食センター 計	2,343	197	2,540
与勝調理場	彩橋中学校	51	22	73
	与勝中学校	546	46	592
	与勝第二中学校	91	19	110
	中学校 小計	688	87	775
	彩橋小学校	92	8	100
	与那城小学校	477	35	512
	南原小学校	266	27	293
	勝連小学校	315	27	342
	平敷屋小学校	181	20	201
	高江洲小学校	785	49	834
	給食センター	—	31	31
	小学校 小計	2,116	197	2,313
	与那城こども園	86	26	112
	赤道こども園	65	25	90
こども園 小計	151	51	202	
	与勝調理場 計	2,955	335	3,290
津堅学校調理場	津堅小学校	5	—	5
	津堅中学校	6	13	19
	給食センター	—	3	3
	津堅学校調理場 計	11	16	27

区分	児童生徒	職員	計
小学校	8,702	610	9,312
中学校	3,962	346	4,308
こども園	151	51	202
給食センター	—	115	115
総合計	12,815	1,122	13,937

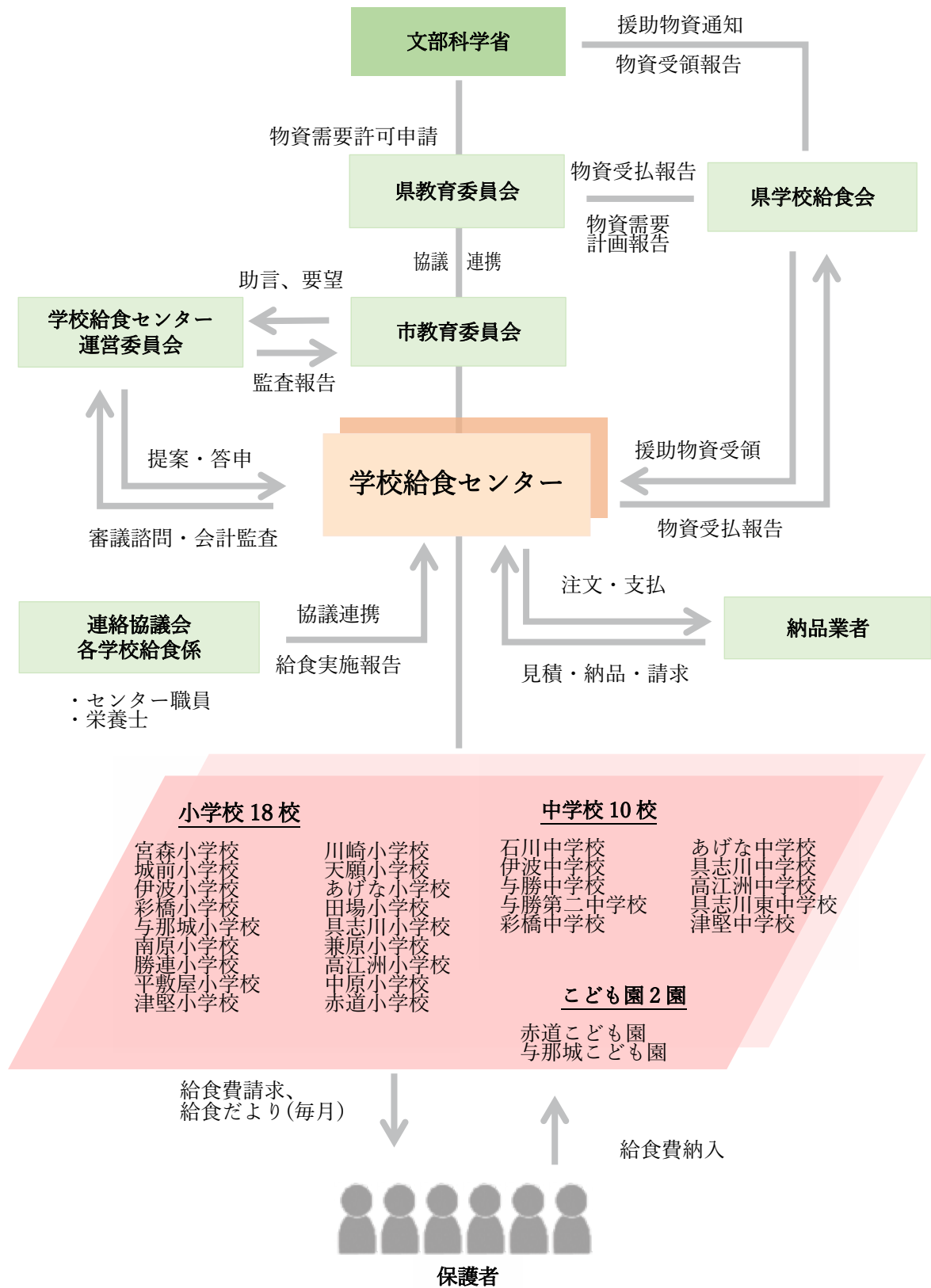
3 うるま市立学校給食センター組織図



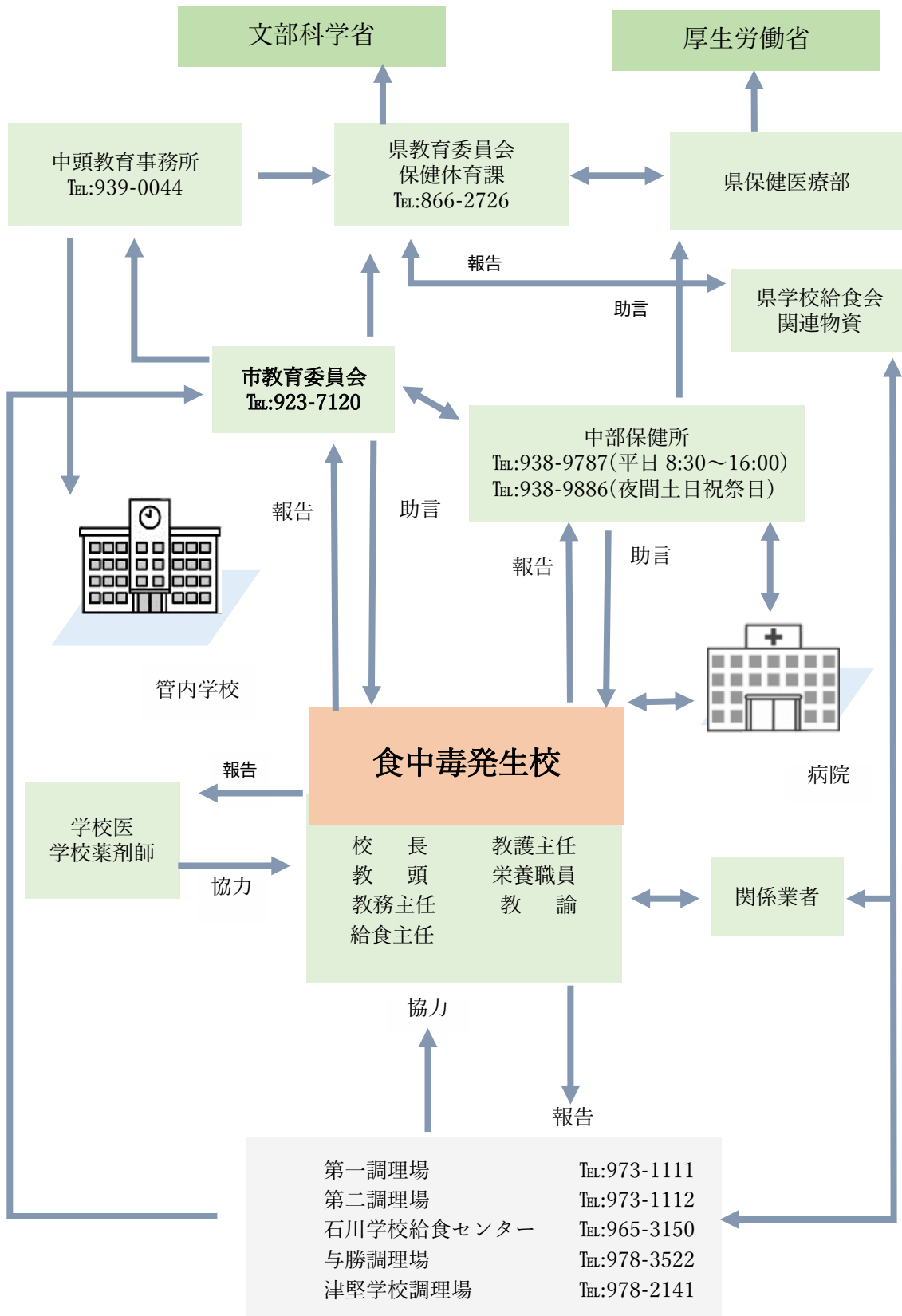
調理等業務委託 実施状況	
H27	第二調理場
H28	石川学校給食センター
H30	第一調理場
R4	与勝調理場



4 うるま市立学校給食センター機構図



5 食中毒発生時の緊急通報体制



6 各学校給食センター

① うるま市立学校給食センター 第一調理場



所在地	〒904-2213 うるま市字田場 709-1 TEL:(098)973-1111 FAX:(098)973-1148
敷地面積	3,972 m ²
施設面積	1,326 m ²
工事竣工	平成 16 年 7 月
調理能力	3,000 食
給食実施年月	平成 16 年 9 月
職員構成	所長 1 名、給食係長 1 名、調理係長 1 名 係員 2 名 学校栄養職員 2 名 調理員 18 名※1 計 25 名

〔第一調理場 配送系統図〕



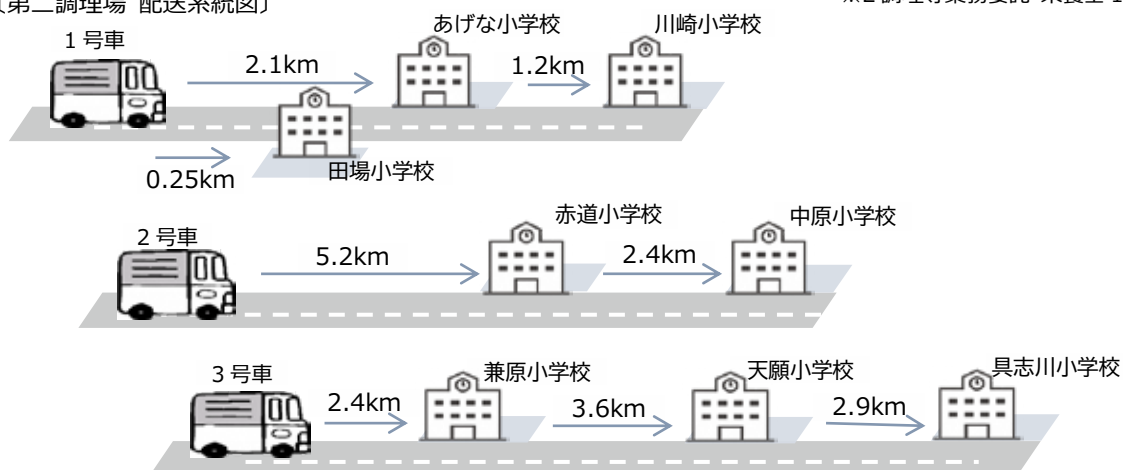
※1 調理等業務委託 栄養士 1 名含む。

② うるま市立学校給食センター 第二調理場



所在地	〒904-2213 うるま市字田場 850 TEL:(098)973-1112 FAX:(098)973-1303
敷地面積	4,552.99 m ²
施設面積	984.74 m ²
工事竣工	昭和 59 年 7 月
調理能力	6,000 食
給食実施年月	昭和 59 年 9 月
職員構成	給食施設係長 1 名、係員 3 名※1 学校栄養職員 2 名、 調理員 29 名※1 計 35 名

〔第二調理場 配送系統図〕



※1 再任用職員 2 名含む。
※2 調理等業務委託 栄養士 1 名含む。

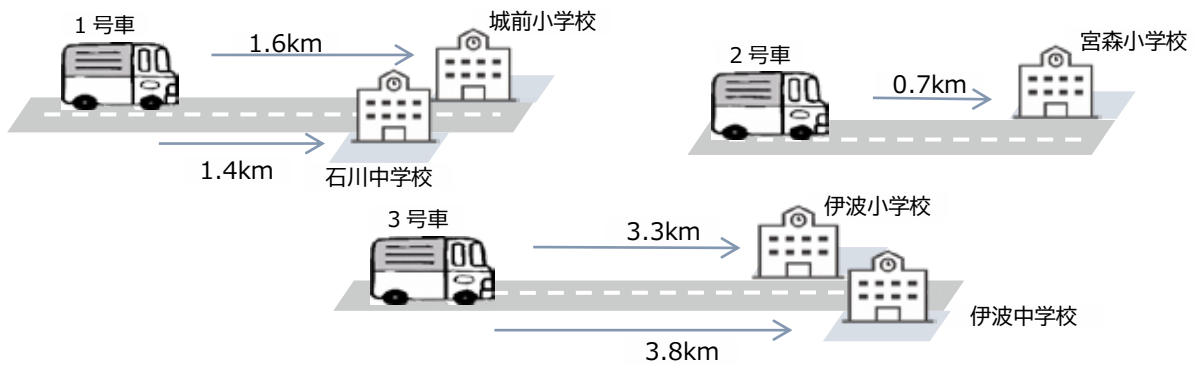
③ うるま市立石川学校給食センター



所在地	〒904-1103 うるま市石川赤崎 1-3-2 TEL:(098)965-3150 FAX:(098)965-3282
敷地面積	2,355 ㎡
施設面積	908 ㎡
工事竣工	昭和 57 年 6 月
調理能力	3,000 食
給食実施年月	昭和 57 年 9 月
職員構成	調理係長 1 名 学校栄養職員 2 名、 調理員 18 名※1 計 21 名

※1 調理等業務委託 栄養士 1 名含

〔石川学校給食センター 配送系統図〕



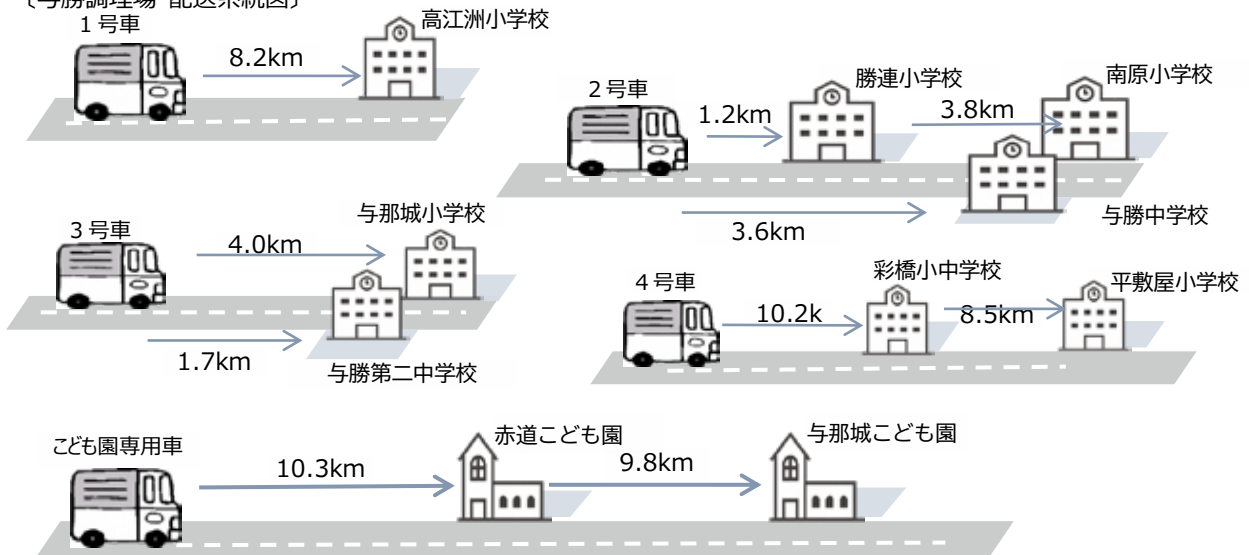
④ うるま市立学校給食センター 与勝調理場



所在地	〒904-2307 うるま市与那城饒辺 231 TEL:(098)978-3522 FAX:(098)978-3555
敷地面積	2,973.38 ㎡
施設面積	1,930.64 ㎡
工事竣工	令和 4 年 7 月
調理能力	3,500 食
給食実施年月	令和 4 年 8 月
職員構成	調理係長 1 名、学校栄養職員 2 名、 市会計任用栄養士こども園担当 2 名、 調理員 26 名※1 計 31 名

※1 調理等業務委託 栄養士 1 名含む。

〔与勝調理場 配送系統図〕



⑤ うるま市立津堅学校調理場



所在地	〒904-2317 うるま市勝連津堅 1327 TEL:(098)978-2141 FAX:(098)978-1005
敷地面積	192 m ² ※ランチルームを含む
施設面積	73 m ²
工事竣工	平成 21 年 3 月
調理能力	100 食
給食実施年月	平成 21 年 4 月
職員構成	市会計任用栄養士 1 名、 会計任用調理員 2 名、計 3 名

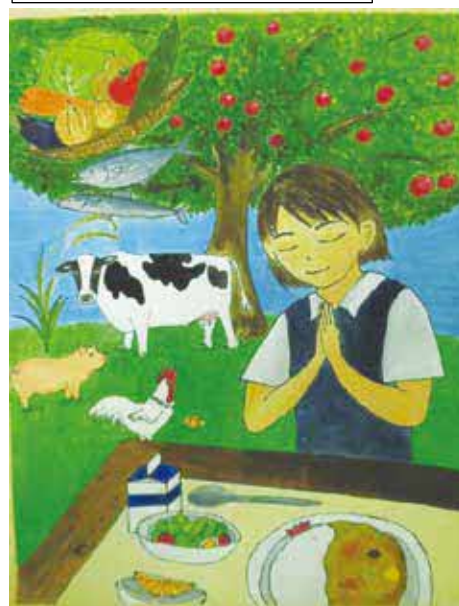
※学校敷地内調理場のため、調理場からランチルームへ。

*** 令和 6 年度学校給食ポスター 最優秀賞作品 10 作品より抜粋 ***

中原小 2 年 稲福 希唯



与勝中 1 年 安里 柚乃



あげな小 1 年 花城 梨寿



平敷屋小 4 年 喩 かや

